

令和 2 年 度

# 学校要覧・教育計画



## 北海道おとねっふ美術工芸高等学校

〒098-2501 北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1

TEL 01656-5-3044

FAX 01656-5-3838

ホームページアドレス <http://www.otoineppu-h.ed.jp/>

E-メールアドレス otokoh @ seagreen.ocn.ne.jp

# 目 次

校章・校歌	1
沿革の概要	2
北海道教育の基本理念	3
上川管内教育推進の重点・音威子府村教育目標	4
校訓・学校教育目標 重点目標 経営方針 教育課程編成の方針 指導上の重点項目	5
学校経営方針	6
教育課程表 令和2年度入学者教育課程表 令和2年度学年別教育課程表	7
組織及び構成 組織構成図 各種委員会の役割 教職員の構成 教職員一覧	9
生徒状況 生徒出身地別人数 生徒数 進路状況 卒業生総数	1 1
日課表・各種団体	1 3
各分掌の計画 総務部 教務部 生徒指導部 進路指導部	1 4
学年・学級・学科経営計画 第1学年 第2学年 第3学年 工芸科	2 4
特別活動全体計画	3 1
学年別LHR活動年間指導計画 第1学年 第2学年 第3学年	3 4
道徳教育全体計画	3 7
高大連携教育計画・学校間連携教育計画	3 8
いじめ対策	3 9
校舎平面図・施設設備の概要	4 1
チセネシリ寮概要 寮生数 寮運営機構 寮平面図	4 2
安全計画と安全管理	4 3
年間行事予定表	4 8

# 校 章



音威子府村は馬鈴薯の名産地であることから、その葉の形を描き、三方に配してあらゆる方面に発展してゆくという意味をもたせた。

なかの文字は、音威子府の「音」の字を外側に書き、そのなかに「高」の文字を配した。

# 校 歌

作詞 烏 本 勇  
作曲 浅 井 昌 明

てん ぼく の み ね あい よる は ぎ - ま  
 かっ ころう よ べ ぼ み どり が こ た う  
 わ か き い の ち の あ ふ る る ま ゆ に  
 し ん り と せ - い ぎ あ お ぎ て つ ど う た た え  
 よ た た え よ あ あ わ が が く え ん

# 校 歌

作詞 烏 本 勇  
作曲 浅 井 昌 明

一、天北の嶺 相寄る間

かっころう呼べば 緑が応う

若き命の 溢るる眉に

真理と正義 仰ぎて集う

讃えよ 讃えよ

あ、我が学園

二、天塩の流れ 紫紺を映し

白雲悠悠 牧場のサイロ

若き命の 高なる胸に

自主と自由を あこがれ集う

栄えあれ 栄えあれ

あ、我が学園

三、六華かがやき 霧華きらめく

平和の郷や 夢はるかなり

若き命を 清らに寄せて

友愛の手を むすびて集う

麗わし 麗わし

あ、我が学園

# 沿革の概要

- 25. 4. 1 北海道名寄農業高等学校音威子府分校として認可され、音威子府中学校に設置
- 25. 5.10 開校式挙行
- 25.10. 1 北海道名寄農業高等学校より北海道名寄高等学校に移管  
北海道名寄高等学校音威子府分校と改称
- 25.12.20 本校舎(90.75㎡)竣工
- 26. 9.30 本校舎(254.0㎡)竣工
- 28. 2. 3 道教委告示より独立認可、北海道音威子府高等学校と称す
- 28.12.30 本校舎2階(72.6㎡)増築竣工
- 29. 8. 1 北海道札幌南高等学校通信教育部委嘱校となる
- 30. 6. 1 定時制課程第一種高等学校に認可
- 32. 6. 1 北海道札幌南高等学校通信教育部地方協力校となる
- 33.11.14 本校舎2階(181.5㎡)および玄関増築落成
- 35. 9.12 創立10周年記念祝賀式典(P T Aよりランドピアノ寄贈)
- 38. 4. 1 工業科目を採択、自動車一般の授業始める
- 38. 6.22 工業実習室並びに公務補室竣工
- 38. 6.30 自動車練習場設置
- 41. 8.10 旧校舎2階建(1,343㎡)落成
- 43.11. 8 屋内体育館(735㎡)落成
- 44.12. 5 創立20周年記念祝賀式典
- 50. 3.31 自動車一般の授業をやる
- 52.12. 9 高校振興調査委員会発足
- 53. 4. 1 芸術として工芸、職業科目としてインテリア実習を採択
- 53. 5.24 工業実習室の改造によるインテリア実習室竣工
- 53. 6.30 インテリア実習室竣工披露
- 54. 2. 5 「北海道知事賞」を受賞
- 54.10.15 寄宿舎(チセネシリ寮)落成、入寮式挙行
- 54.12. 7 第1回木の手づくり展(木工展示会)開催 [名寄～9]
- 55. 9.27 創立30周年記念式典挙行
- 55.11.14 第2回木の手づくり展開催 [旭川、札幌、名寄～1/24]
- 55.11.30 寄宿舎(チセネシリ寮)全館落成、124人収容
- 56. 6.27 「第4回北海道青少年科学文化振興賞」を受賞
- 57. 2.15 第3回木の手づくり展(木材工芸展)開催 [名寄～17]
- 58. 2. 3 第4回木の手づくり展開催 [名寄～6]
- 58.11.11 第5回木の手づくり展開催 [旭川、名寄、札幌～1/31]
- 58.12. 9 村立全日制課程・工芸に関する学科、工芸科へ転換認可  
同上発足(1間口、定員45名)
- 59. 4. 1 第6回木の手づくり展開催 [名寄～26]
- 60.12.20 新校舎(第Ⅰ期工事)完成
- 61. 1.10 第7回木の手づくり展開催 [札幌～17]
- 61.10.25 新校舎工芸棟(第Ⅱ期工事)完成、落成記念式典
- 62. 3.10 全日制工芸科第1回卒業式
- 62. 3.31 定時制課程閉課
- 63. 1. 7 第8回木の手づくり展開催 [札幌～13]
- 63. 2.25 上川管内教育実践表彰を受賞
- 63.11. 5 第9回木の手づくり展開催 [旭川～9]
- 63.11.30 チセネシリ寮学習室増築完成
- 2. 1. 8 第10回木の手づくり展開催 [札幌～13]
- 2. 5.24 創立40周年記念 標本樹木植樹
- 2.11.14 第11回木の手づくり展開催 [旭川～19]
- 2.12. 3 創立40周年記念 学校名標示塔建立
- 4. 1. 6 第12回木の手づくり展開催 [札幌～10]
- 4.11.18 第13回木の手づくり展開催 [旭川～23]
- 6. 1. 4 第14回木の手づくり展開催 [札幌～7]
- 6.11.15 第15回木の手づくり展開催 [旭川～20]
- 6.12.15 屋内体育館(1003㎡)改築落成
- 6.12.15 家庭科棟(535㎡)増築落成
- 8. 1. 8 第16回木の手づくり展開催 [札幌～12]
- 8. 9.29 第17回木の手づくり展開催 [札幌～10/5]
- 9. 8.13 第18回木の手づくり展開催 [旭川～17]
- 10.10. 6 第19回木の手づくり展開催 [札幌～9]
- 11.10. 6 第20回木の手づくり展開催 [札幌～9]
- 11.10.19 校訓披露式挙行
- 12.10. 3 第21回木の手づくり展開催 [旭川～8]
- 12.10.28 創立50周年式典挙行
- 13.10. 6 第22回木の手づくり展開催 [札幌～8]
- 14. 4. 1 北海道おといねっふ美術工芸高等学校へ校名変更
- 14. 8.18 女子寮増築落成
- 14.10.12 第23回木の手づくり展開催 [札幌～14]
- 15. 4. 1 工芸コース 美術コースのコース制選択を導入
- 15.10.11 第24回木の手づくり展開催 [札幌～13]
- 16. 2.10 第53回全国高等学校スキー大会 総合優勝
- 16. 6.28 第1回上川合同庁舎生徒作品展 [～7/9]
- 16. 9.24 第25回木の手づくり展開催 [札幌～26]
- 16.11. 5 産業教育フェア開催 [札幌～7]
- 17. 2. 9 第54回全国高等学校スキー大会 総合優勝 2連覇
- 17. 6.27 第2回上川合同庁舎生徒作品展 [～7/8]
- 17.10.17 第26回木の手づくり展開催 [札幌～19]
- 18. 6.26 第3回上川合同庁舎生徒作品展 [～7/7]
- 18. 8.14 第27回木の手づくり展開催 [札幌～16]
- 18.10. 1 学校評議員会設置
- 19. 2.22 上川管内教育実践表彰を受賞
- 19. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校「美術Ⅰ」
- 19. 5.18 高大連携事業調印式(北海道東海大学)
- 19. 6. 5 北海道教育大学岩見沢校とのジオラマ共同制作 [～8]
- 19. 6.25 第4回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/6]
- 19. 9.18 高大連携教育としてデザインスクールを実施
- 19.10.15 国際理解教育 [留学生2名受入～26]
- 19.10.19 美術工芸教育実践研究発表会
- 19.11. 5 第28回木の手づくり展札幌開催 [道庁～7]
- 20. 5.17 国際理解教育 [生徒2名派遣～6/1]
- 20. 6.30 第5回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/11]
- 20. 7. 1 アジাপリントアドベンチャーにて壁画制作
- 20. 8.11 第29回木の手づくり展札幌開催 [道庁～13]
- 20.10.14 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～23]
- 20.10.15 スウェーデン レクサンド高校との姉妹校提携調印式
- 21. 2.16 北海道教育実践表彰を受賞
- 21. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校「工芸Ⅰ」
- 21. 6.24 第6回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/7]
- 21. 8.10 第30回木の手づくり展札幌開催 [道庁～12]
- 21. 9.26 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～10/7]
- 21.11. 1 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～13]
- 22. 3.31 女子寮増築落成
- 22. 5. 4 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒2名派遣～15]
- 22. 6.25 第7回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/9]
- 22. 8. 9 第31回木の手づくり展札幌開催 [道庁～11]
- 22.11.18 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～27]
- 23. 6.24 第8回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～7/7]
- 23. 8. 8 第32回木の手づくり展札幌開催 [道庁～10]
- 23. 9.11 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒2名派遣～22]
- 23.10.20 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～26]
- 24. 4.28 木の手づくり展東京開催 [東京～30]
- 24. 5. 7 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～19]
- 24. 6. 8 第9回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～22]
- 24. 8.13 第33回木の手づくり展札幌開催 [道庁～15]
- 24.11.21 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～26]
- 25. 4. 1 国立教育政策研究所教育課程研究指定校「工芸Ⅰ」
- 25. 6. 7 第10回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～21]
- 25. 8. 5 第34回木の手づくり展札幌開催 [道庁～7]
- 25. 9.16 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～27]
- 25.10.20 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～26]
- 25.10.22 高大連携事業調印式(東海大学国際文化学部)
- 26. 3.28 女子寮増築落成
- 26. 6.13 第11回木の手づくり展旭川開催 [上川合同庁舎～27]
- 26. 8. 4 第35回木の手づくり展札幌開催 [道庁～6]
- 26. 9.15 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～26]
- 26.11. 9 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～15]
- 27. 2.10 第64回全国高等学校スキー大会 総合優勝 [秋田]
- 27. 6.12 第12回木の手づくり展旭川開催[デザインギャラリー～14]
- 27. 8. 3 第36回木の手づくり展札幌開催 [道庁～5]
- 27. 9.15 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～26]
- 27.10.18 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～25]
- 28. 1.20 木の手づくり展特別展開催 [札幌かでの2.7～24]
- 28. 1.31 寮食堂新築
- 28. 2. 8 第65回全国高等学校スキー大会 総合優勝 2連覇
- 28. 6.10 第13回木の手づくり展旭川開催[デザインギャラリー～12]
- 28. 7.16 2016彩の国進学フェア参加 [埼玉～17]
- 28. 8. 1 第37回木の手づくり展札幌開催 [道庁～3]
- 28. 8.20 4町村合同連携事業実施 [札幌地下歩行空間～21]
- 28. 9.27 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～10/8]
- 28.10.23 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～27]
- 29. 6.30 第14回木の手づくり展旭川開催[デザインギャラリー～7/2]
- 29. 7.21 2017彩の国進学フェア参加 [埼玉～24]
- 29. 8.11 第38回木の手づくり展札幌開催 [かでの2.7～13]
- 29. 8.20 4町村合同連携事業実施 [札幌地下歩行空間～21]
- 29.10. 3 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～14]
- 29.10.18 国際理解教育 [レクサンド高校より留学生2名受入～24]
- 30. 6. 8 第15回木の手づくり展旭川開催[デザインギャラリー～10]
- 30. 7.21 2018彩の国進学フェア参加 [埼玉～22]
- 30. 8. 4 第39回木の手づくり展札幌開催 [かでの2.7～6]
- 30. 8.18 4町村合同連携事業実施 [札幌地下歩行空間～19]
- 30.10. 1 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～12]
- 1. 6. 7 第16回木の手づくり展旭川開催[デザインギャラリー～9]
- 1. 6.22 地域みらい留学フェスタ参加[大阪、福岡、東京、名古屋～30]
- 1. 7.20 2019彩の国進学フェア参加 [埼玉～21]
- 1. 8. 4 第40回木の手づくり展札幌開催 [かでの2.7～6]
- 1.10. 1 国際理解教育 [レクサンド高校へ生徒3名派遣～12]
- 2. 2. 7 第69回全国高等学校スキー大会 女子総合初優勝

# 北海道教育の基本理念

**自立** 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む

**共生** 心豊かに、ともに支えあい、ふるさとに誇りを持つ人を育む

## 【基本目標】

### 基本目標 1 社会で生きる実践的な力の育成

- 生きる知恵につながる確かな学力を育み、自立した生き方を支える教育の推進
- 社会の変化に対応し、新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

### 基本目標 2 豊かな心と健やかな体の育成

- 豊かな人間性と感性を育む教育の推進
- 心身の健やかな成長を促す教育の推進

### 基本目標 3 信頼される学校づくりの推進

- 魅力ある学校づくりの推進
- 教職員に対する信頼性の向上

### 基本目標 4 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりの推進

- 家庭の教育力の向上への支援の充実
- 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進

### 基本目標 5 北海道らしい生涯学習の実現

- 学んだ成果を生かす生涯学習の推進
- 潤いのある地域づくりをめざす社会教育の推進
- 文化・芸術活動の推進
- 健康づくり・スポーツ活動の推進

# 上川管内教育推進の重点

## I 社会で生きる力

- 1 確かな学力を育む教育の推進
- 2 インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育の推進
- 3 新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

## II 豊かな人間性

- 1 いじめや不登校を解消する取組の充実
- 2 豊かな心や感性を育む教育の推進
- 3 他者と協働する力の育成

## III 健やかな体

- 1 体力・運動能力の向上

## IV 学びを支える家庭・地域

- 1 家庭の教育力の向上
- 2 地域の教育力の向上

## V 学びをつなぐ学校づくり

- 1 教職員に対する信頼性の向上
- 2 魅力ある学校づくりの推進

## VI 学びを活かす地域社会

- 1 生涯学習の振興
- 2 地域課題の解決に向けた環境整備

# 音威子府村教育目標

### ○たくましい身体と意志を育てよう

開拓者精神を受け継ぎ、ねばり強くやり抜く強い意志をもち、進んで健康と体力増進につとめ、明るく豊かな村づくりにはげむ村民の育成をめざす

### ○望ましい個性と豊かな人間性を育てよう

自ら学び、自主的、主体的に社会参加を行い、正しい判断のできる心豊かな村民の育成をめざす

### ○規律を守り勤労を愛する心を育てよう

きまりを守り、他人をいたわる心を育てるとともに、勤労の喜びを見出し、生きがいのある生活をつくりだす村民の育成をめざす

### ○自然を愛する心を育てよう

天塩川の恩恵に感謝し、森、川にかこまれた自然を愛する心を育て、住みよいまちづくりにはげむ村民の育成をめざす

### ○文化を高め郷土を愛する心を育てよう

先人の文化的遺産を受け継ぎ、芸術、文化を育み高める心を育て、地域から生まれる生活文化を向上させる村民の育成をめざす

# 校 訓

HEART  
AND  
CREATION  
創造 自主 飛翔

## 学校教育目標

造形体験を重ね、  
創造力を育成する

- 基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める
- 個性を生かし、豊かな自己表現を目指す
- 自然に親しみ、情操を豊かにする

### 1 育成を目指す資質・能力

- (1) 美術・工芸を学ぶ者として、基礎的・基本的な知識や技術・技能を身につけさせる。
- (2) 創作活動を通して豊かな心を育むと共に、作品への問題発見能力、課題解決能力を育む。
- (3) あらゆる教育活動を通じて、豊かな自己表現能力を育てる。
- (4) 将来の目標を叶えるための、確かな学力を身につけさせる。

### 2 重点目標

- (1) 基本的生活習慣の確立と学習習慣の定着を目指す。
- (2) 確かな技術技能の定着をはかり、生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、豊かな心と社会性を育成する生徒指導を推進する。
- (4) 3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己目標実現に取り組む姿勢を身につけさせる。
- (5) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し研修や実践を推進する。

### 3 教育課程編成の方針

- (1) 工芸科としての特色ある教育課程の編成に努める。
- (2) 専門高校として多様な進路選択に応える教育課程の編成に努める。
- (3) 情操豊かな人格形成を目指し、教科と特別活動等の調和のとれた教育課程編成を目指す。

### 4 指導上の重点事項

学習指導	(1) 生徒一人ひとりに個別最適化した学習指導を目指し、研修により学習方法や評価方法を工夫し、学習習慣を定着させ、基礎的・基本的な知識や技術・技能を身に付けさせる。 (2) 高大連携や国際理解教育といった地域の教育力や、ICTや図書教育を用いた探究的な学習、そして他者と関わる創作活動を通じて、問題発見能力、課題解決能力を育成する。 (3) 工芸科としての特色ある教育活動により、キャリア教育の推進を図り、情操に富み、夢や希望に溢れる生徒を育て、21世紀型学力の育成を目指す。
生徒指導	(1) 全教職員の共通理解と実践により、基本的生活習慣の定着を推進する。 (2) 地域の特色を生かした特別活動等の充実を図り、生徒の自主性や自律性を育成する。 (3) 教育相談活動を充実し、多面的な生徒理解を深め、問題の早期発見・対応を実践する。
進路指導	(1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて努力する態度を育成する。 (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成する。 (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。
健康・安全指導	(1) 保健教育活動を充実し、個々の生徒の状況を的確に把握し、生命を大切にし主体的に心身を鍛える生徒を育成する。 (2) 校内外の清掃美化や施設の保全を図り、快適な教育環境づくりを推進する。 (3) 全教育活動をとおして安全教育を徹底させ、適切な生活行動ができるよう指導する。

# 令和2年度 学校経営方針

生徒・保護者・村民・教職員がともに夢を語り、感動があふれる学校を創造する

## 夢を語り感動があふれる学校づくり

- 1 全道唯一の工芸科として、美術工芸の学びをとおした質の高い教育活動を推進する。
- 2 創作活動をとおして学ぶ意欲を高め、可能性を引き出し、夢を叶える確かな学力を育成する。
- 3 他を思いやり、共に学び感動があふれる学校生活をとおして、豊かな人間性を育成する。
- 4 生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える、社会に開かれた教育課程づくりを推進する。

## 全道唯一の工芸科として教育活動の充実を図る

- 1 創造力を育成する質の高い美術工芸作品の制作
- 2 学ぶ意欲を高め個性や能力を伸ばす工芸・美術コース
- 3 他を思いやる心を育てる学校教育活動と寮生会活動
- 4 地域の自然や人々、木と触れあうことによる心豊かな人づくり
- 5 一人ひとりが主人公として活躍し自己表現力を育む教育活動
- 6 課題解決能力や社会性を伸長する教育活動

## 創造力を育成し人間力を高める

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 魅力ある教育活動の推進<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 創造力を育成する教育活動の実践</li><li>(2) 工芸と美術のコース選択による個性の伸長</li><li>(3) 高大連携による教育内容の充実</li><li>(4) 多様な進路の可能性を担保し、21世紀型能力を育てる教育課程の研究</li></ol></li><li>2 個性を伸ばす学習指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 自己実現に向け、自ら学ぶ意欲を高める学習指導</li><li>(2) 質の高い表現学習をとおした創造力の育成</li><li>(3) 基礎的基本的な学力の定着を図る個に応じた指導</li></ol></li><li>3 豊かな心を育む生徒指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 自らを律する態度を育成する生徒指導</li><li>(2) 教育相談による生徒理解の推進</li><li>(3) 学校生活と寮生活の両輪による望ましい人間関係を構築する能力の育成</li><li>(4) 生徒会と寮生会の活動による自主性の育成</li><li>(5) 特別活動や部活動等による社会性の育成</li><li>(6) 生命を尊重し健やかな心身を育成する健康安全指導</li></ol></li><li>4 未来を拓く進路指導<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 生徒の能力や適性に合った進路指導</li><li>(2) 自己理解や自己実現を達成する力の育成</li><li>(3) 計画的系統的なキャリア教育の推進</li></ol></li><li>5 学校情報の積極的な発信<ol style="list-style-type: none"><li>(1) Webページ等の充実による情報発信力の向上</li><li>(2) 各種「たより」等による学校理解の推進</li><li>(3) 学校案内、ポスター等の充実</li></ol></li></ol> | <ol style="list-style-type: none"><li>6 学びの成果を発信する生徒作品の公開<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 「村の美術館」として校内生徒作品の公開</li><li>(2) 「木の手づくり展」の充実発展</li><li>(3) 村施設や村民文化祭等で生徒作品の展示</li></ol></li><li>7 地域と一体となった教育活動<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 「植樹祭」「村民運動会」「文化祭」等への参加</li><li>(2) 授業、課外活動や学校行事等の教育活動の公開及び地域の教育力の活用</li><li>(3) 幼小中高が連携した学びの充実</li><li>(4) 北海道大学中川研究林との「森林探訪」の実施</li><li>(5) 村内各スキー大会等の地域行事への支援及び参加</li></ol></li><li>8 教え育むプロとしての教師力向上<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 指導と評価を一体化した授業改善</li><li>(2) 主体的対話的な深い学びの実践及び評価の工夫</li><li>(3) 校内研修会や公開授業による資質能力の向上</li><li>(4) 校外各種研修会等の参加と情報の還元及び共有</li><li>(5) 村内教育推進協議会による研修の充実</li><li>(6) 高大連携をとおした大学教員との専門的研修</li><li>(7) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員集団</li><li>(8) 学校評価、授業評価、学校評議員会を踏まえた課題改善</li><li>(9) 服務規律保持、危機管理の高揚に向けた研修</li></ol></li><li>9 特色ある教育活動の充実発展<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 東海大学との高大連携教育</li><li>(2) 全道唯一の工芸科による「人づくり」</li></ol></li></ol> |
|--|---|



# 教 育 課 程 表

## 1 令和2年度 入学者教育課程表

教 科	科 目	標準単位数	1 年	2 年		3 年	
			共 通	工 芸	美 術	工 芸	美 術
国 語	国語総合	4	4				
	現代文B	4		2	2	3	3
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公 民	現代社会	2	2				
数 学	数学Ⅰ	3	3				
	数学A	2		2	2		
	数学Ⅱ	4				3	3
理 科	化学基礎	2				2	2
	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体 育	7～8	2	2	2	3	3
	保 健	2	1	1	1		
芸 術	美術Ⅰ	2	3				
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3				
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		2	2	3	3
家 庭	家庭基礎	2		2	2		
情 報	社会と情報	2	2				
工 業	工業技術基礎	2～4	4				
美 術	素 描	2～6		1	1	1	1
	絵 画	2～4			4		
芸 術	美術研究 ○	4					4
工 芸	図法・製図 ○	3	1	2	2		
	木工制作Ⅰ ○	4	4				
	木工制作Ⅱ ○	6		6	6		
	インテリア史 ○	1		1	1		
	工芸制作 ○	4		4			
	課題研究 ○	6				6	6
	工芸研究 ○	4				4	
小 計			29	29	29	29	29
ホ ー ム ル ー ム 活 動			1	1	1	1	1
合 計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

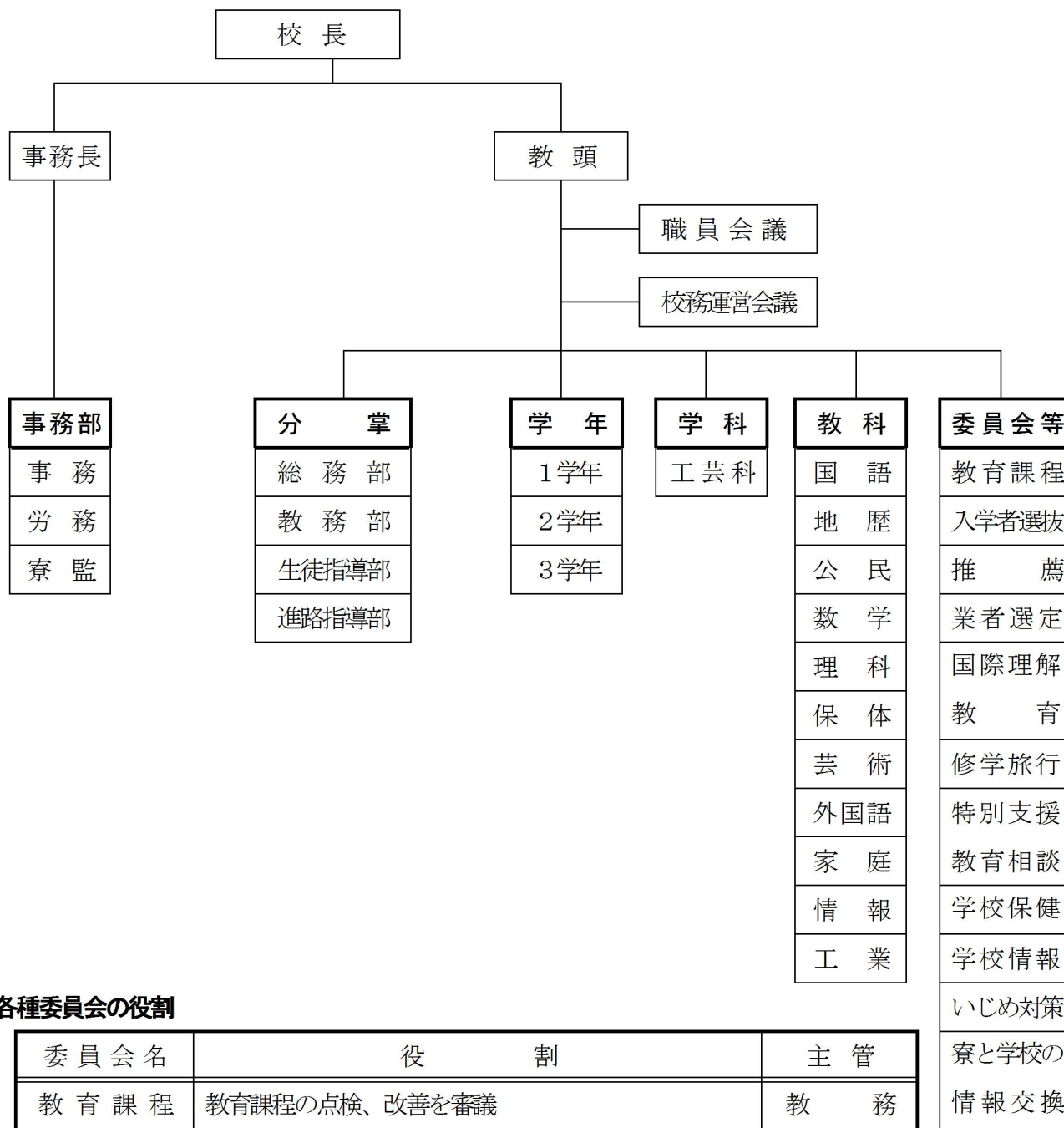
## 2 令和2年度 学年別教育課程表

教科	科目	標準単位数	1年	2年		3年	
			共通	工芸	美術	工芸	美術
国語	国語総合	4	4	2	2		
	国語表現	3				4	4
地理歴史	世界史A	2				2	2
	地理A	2		2	2		
公民	現代社会	2	2				
数学	数学I	3	3				
	数学A	2		2	2	3	3
理科	生物基礎	2		2	2		
	地学基礎	2				2	2
保健体育	体育	7~8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	美術I	2	3				
外国語	コミュニケーション英語I	3	3	2	2		
	コミュニケーション英語II	4				4	4
家庭	家庭基礎	2		2	2		
情報	社会と情報	2	2				
工業	工業技術基礎	2~4	4				
美術	素描	2~6		1	1	1	1
	絵画	2~4			4		
芸術	美術研究	○ 4					4
工芸	図法・製図	○ 3	1	2	2		
	木工制作I	○ 3	4				
	木工制作II	○ 6		6	6		
	インテリア史	○ 1		1	1		
	工芸制作	○ 4		4			
	課題研究	○ 6				6	6
	工芸研究	○ 4				4	
小計			29	29	29	29	29
ホームルーム活動			1	1	1	1	1
合計			30	30	30	30	30

※「○」を付した科目は学校設定科目である。

# 組 織 及 び 構 成

## 1 組織機構図



## 2 各種委員会の役割

委員会名	役 割	主 管
教育課程	教育課程の点検、改善を審議	教 務
入学者選抜	入学者選抜における原案作成や準備業務	教 務
推 薦	就職・進学に関して推薦要件の確認、選定	進路指導
業者選定	公正・適正な業者見積の選定	事 務
国際理解教育	国際理解教育の方針、派遣選考、受入対応、諸準備	総 務
修学旅行	宿泊研修及び見学旅行の計画、役割分担等	総 務
特別支援・教育相談	発達障害や精神面での支援が必要な生徒への対応検討	生徒指導
学校保健	心身の健康を守り、安全・安心の確保づくりの推進	生徒指導
学校情報	校内情報施設、設備、備品、システムの管理と運用	総 務
いじめ対策	学校における健康課題の研究協議、健康づくりの推進	教 頭
寮と学校の情報交換	学校と寮職員との生徒情報の交換	生徒指導

### 3 教職員の構成

校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	事務長	事務生	公務補	寮監	寮補	寄宿舎指導員	寮職員	賄管理人	計
1	1	12	2	1	1	1	1	2	0	1	1	1	25

### 4 教職員一覧

職名	氏名	担当教科	校務分掌	発今年月日
校長	松田圭右			H30. 4. 1
教頭	佐々木雅治			H31. 4. 1
教諭	棚橋栄治	保健体育	生徒指導部長・1学年付・舎監	H21. 4. 1
〃	林一浩	理科・家庭	総務部・3学年付・舎監	H27. 4. 1
〃	角南友繁	芸術(美術・工芸)	進路指導部長・3学年付・舎監	H31. 4. 1
〃	下川さつき	芸術(美術・工芸)	生徒指導部・1学年副担任・舎監長	H27. 4. 1
〃	久保亜紀子	芸術(美術・工芸)・工業	総務部長・2学年付・舎監	H29. 4. 1
〃	石川朋美	芸術(美術・工芸)	生徒指導部・2学年副担任・副舎監長	R 2. 4. 1
〃	森下瑛仁	外国語	教務部長・2学年付・舎監	H29. 4. 1
〃	三谷佳典	芸術(美術・工芸)	工芸科長・進路指導部・1学年付・舎監	H28. 4. 1
〃	須藤由希子	芸術(美術・工芸)	総務部・3学年正担任・舎監	H28. 4. 1
〃	河野行宏	地歴・公民	教務部・3学年副担任・舎監	R 2. 4. 1
〃	杉浦誠耶	数学・情報	教務部・1学年正担任・舎監	H31. 4. 1
〃	近江建心	国語	進路指導部・2学年正担任・舎監	H30. 4. 1
養護教諭	澤口李佳		育児休業中	H25. 4. 1
養護教諭	石沢寛悟		生徒指導部・1学年付・副舎監長	R 1.11. 1
実習助手	澤口将達		総務部・3学年付・同窓会	H27. 6. 1
事務長	高橋利玄			H31. 4. 1
事務生	横山康子			H25. 4. 1
公務補	西山亮太			H30. 4. 1
寮監	北原貴志			H26. 4. 1
〃	佐藤雅隆			H29. 4. 1
寄宿舎指導員	執行伸枝			H18. 4. 1
寮職員	永井満			R 2. 4. 1
賄管理人	加藤友幸			H28. 4. 1
校医	三好義範			H25. 4. 1
歯科医	松尾徹也			H24. 9. 1

# 生徒状況

## 1 生徒出身地別人数（令和2年4月9日現在）

	1年		2年		3年		管内		
	男	女	男	女	男	女	管内名	男	女
札幌市	1	2	2	3	1	1	石狩	7	10
千歳市				1					
恵庭市						1			
石狩市					1				
北広島市					1	2			
当別町					1		渡島	1	
七飯町					1		後志	2	2
小樽市				1	1	1			
喜茂別町	1						空知	2	4
岩見沢市	1			1					
美唄市		1							
滝川市		1							
南幌町		1							
秩父別町	1						上川	9	27
旭川市	4	1	1	3		2			
名寄市		2		4					
富良野市						1			
鷹栖町		1	1	1		1			
東神楽町				2		1			
愛別町		1							
上川町				1					
東川町				1		1			
美瑛町					1				
上富良野町			1						
中富良野町				2		1			
剣淵町	1								
美深町						1			
遠別町		1							
稚内市	1	1		1		1	宗谷	1	3
北見市		1					オホーツク	1	3
美幌町	1	1							
清里町		1					胆振		2
苫小牧市						1			
安平町				1			十勝	2	6
帯広市		1		1					
士幌町		1	1						
鹿追町	1								
芽室町		1							
池田町						1	釧路	1	2
幕別町						1			
釧路市	1					1	道外	13	13
浜中町				1					
新潟県		1			1	1			
栃木県			1						
福島県					1				
埼玉県	2	2		2	1	1			
千葉県	1			1					
東京都			1	1	1				
愛知県		1							
岐阜県					1				
京都府		1							
兵庫県				1					
山口県						1			
福岡県			1						
鹿児島県	1				1				
合計	17	23	9	29	13	21	112		

## 2 生徒数（令和2年4月9日現在）

	1年	2年	3年	合計	備考
男子	17	9	13	39	寮生 38
女子	23	29	21	73	寮生 73
合計	40	38	34	112	寮生 111

# 進路状況

(平成21年度卒業生以降)

年 度		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
進 学	四年制大学	8	11	17	14	14	11	11	11	10	13	16
	短期大学	2	2	2	2	0	1	0	1	3	3	4
	各種学校	17	10	9	12	14	14	11	13	14	11	13
	その他	2	2	2	4	0	2	0	0	0	1	0
	未定	0	0	0	0	0	1	3	2	2	2	0
	(小計)	(29)	(25)	(30)	(32)	(28)	(29)	(25)	(27)	(29)	(30)	(33)
就 職	木材・工芸関係	2	2	3	0	1	2	2	2	2	3	2
	販売・製造等	2	4	2	3	0	0	1	3	0	1	3
	公務員(含自衛隊)	0	1	1	2	2	3	3	3	0	5	0
	サービス・飲食店関係	0	2	0	0	3	1	1	1	0	0	0
	福祉施設関係	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0
	運輸業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	その他	2	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1
	未定	0	0	2	1	2	1	2	1	3	0	0
	(小計)	(6)	(11)	(10)	(7)	(10)	(8)	(11)	(12)	(6)	(9)	(6)
合 計	35	36	40	39	38	37	36	39	35	39	39	

## 卒業生総数

男子 1,094名      女子 666名      合計 1,760名      (令和2年3月1日現在)

# 日 課 表

職員出勤	～ 8:00
職員打合せ	8:00～ 8:15
S H R	8:15～ 8:30
第1校時	8:35～ 9:25
第2校時	9:35～10:25
第3校時	10:35～11:25
第4校時	11:35～12:25
昼 休 み	12:25～13:10
第5校時	13:10～14:00
第6校時	14:10～15:00
S H R	15:00～15:10
清掃活動	15:10～15:30
部 活 動	15:30～17:30
生徒下校	～17:40
職員退勤	16:30～

## 各 種 団 体

### 1 父母と教師の役員

会 副 会 席 会 顧 計 監	長 計 務 査 問	草 濱 高 久 栃 大	刈 里 橋 保 谷 竹	昇 摩 利 亜 紀 政	一 里 玄 子 淳 美	・ 石 田 英 之 ・ 栃 谷 淳 ・ 佐 々 木 雅 治	・ 松 田 圭 右
--------------------------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---	-----------------------

### 2 体育文化振興会役員

会 副 会 席 会 顧 理	長 計 務 査 問 事	櫻 濱 高 久 栃 河 大 中	田 里 橋 保 谷 上 竹 内	克 摩 利 亜 紀 政	明 里 玄 子 淳 實 美 敬	・ 石 田 英 之 ・ 栃 谷 淳 ・ 佐 々 木 雅 治	・ 松 田 圭 右 敬 ・ 西 山 容 子 ・ 大 竹 政 雄
---------------------------------	----------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	----------------------------	--------------------------------------	---	--

### 3 同窓会役員

会 副 会 席 学 連 校 務 絡	長 計 務 査 局 員	大 玉 西 中 澤 石 布 舟 佐 紺 栗 千 伊 大 黒 鈴 佐	竹 田 山 内 口 田 施 山 近 野 原 葉 藤 西 川 木 木	政 容 将 康 孝 宏 健 将 聖 彩 友 凜	美 敬 子 敬 達 幸 敏 恵 航 薫 郎 壽 泰 水 恵 絵 奈	・ 千 見 寺 晴 美 ・ 藤 井 藤 口 重 澤 本 村 本 辺	・ 享 勝 大 広 圭 勇 優 謙 灯 創	・ 丹 高 母 広 松 古 高 佐 照 城 伴 一 人 輔 樹 司 氣 皓 奈 太 偉 大	橋 田 川 倉 西 慶 木 井 守 野	義 佳 小 雄 奈 麻 瑞 謙 李 爽 樹	光 子 合 基 美 里 樹 也 彩 音 菜	池 佐 井 伊 吾 鈴 石 足 石 佐 加	端 木 川 勢 子 木 川 立 山 藤 藤	友 健 大 尚 晴 龍 健 拓 瑛	博 太 伍 記 香 一 彩 悠 樹 斗 瑠
---	----------------------------	---	---	--	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---

# 各分掌の経営計画

## <総務部>

### 1 活動目標

校務の円滑な運営を行うとともに、学校業務のスリム・健全化を推進する。

### 2 今年度の重点課題

- (1) 業務の円滑な遂行、及び校務のスリム化
  - ・ 総務業務の円滑かつ早期からの実施
  - ・ 各種委員会及び分掌業務等の整理と推進
  - ・ 校務運営システム活用へ向けた校務の推進
- (2) 実態に即した、戦略的な生徒募集の展開
  - ・ 「生徒の育ち」、「本校ならではの学び」を紹介
  - ・ Web ページ、ブログ、パンフレット等での本校の学びを発信
  - ・ 木の手づくり展等における活動展示の促進

### 3 課題解決の方策

- (1) 各種校務の整理
  - ・ 校内研修会の実施などによる校内の問題点の共有化
  - ・ 各種業務の整理
  - ・ 校内業務についての内規の見直し
- (2) 取り組みの検証作業
  - ・ 校内研修会による生徒募集の在り方提示と方針の共有化
  - ・ 学校評議員等からの助言をもとにした改善策の立案と推進
  - ・ 機動性を重視した取り組み

### 4 分掌構成・業務分担・各種委員会

委員会名	部長				主管
	久保	林	須藤	澤口	
校務運営会議	◎				総務部
教育課程委員会					教務部
国際理解教育委員会	◎				総務部
修学旅行委員会			◎		総務部
入学者選抜委員会		○	●		教務部
業者選定委員会	○				事務長(校務運営会議)
学校情報委員会	●	◎			総務部

◎：委員のとりまとめ役 ○：分掌から選出する委員 ●分掌以外で割り当たった委員

### 5 業務一覧表

業務	担当者	主な業務	他分掌等との関わり
庶務	久保 久保・林 久保 久保・林 全員 久保・林 林・久保 久保 久保・林	校務整理・改善 議題整理・運営 入学・卒業式、始終業式 同窓会記念事業 職員室机ロッカーの配置 全体立案 会議の企画・取りまとめ 取りまとめ	校務運営会議 校務運営会議  同窓会
生徒募集	全員 全員 久保・須藤・澤口	ガイダンス資料、要項 HP、ブログ、パンフ更新	工芸科との連動 工芸科との連動 学校情報委員会
特色ある取組	久保・須藤 久保 須藤・久保	デザインスクール 次年度選考 宿泊研修・見学旅行	工芸科との連動 国際理解教育委員会 修学旅行委員会
渉外・PTA	久保・林 久保・須藤・澤口 全員 久保・林		生徒指導部との連動
校内情報管理	林・澤口 須藤・澤口 久保・林		学校情報委員会



校内管理	校内安全点検 掲示物等管理 各種備品管理	久保 須藤・澤口 須藤・澤口	安全点検 ポスターの校内掲示など カメラなどの備品管理	教頭
------	----------------------------	----------------------	-----------------------------------	----

## 6 年間計画

	月	共通の会議・行事等	業 務
前 期	4	年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 「生徒募集指針」決定	前期始業式、入寮式、入学式、PTA・体文総会 見学旅行結団式、生徒募集年間計画・実施要項 新規集配布、年間行事計画確定 生徒募集に係るアンケート作成、配布 見学旅行、修学旅行委員会（第1回） 全校集会（GW前） 発送文書とりまとめ（地区懇文書）
	5	校務運営会議・職員会議 第1回入学者選抜委員会 教育課程委員会	全校集会（GW明け）、生徒募集に係るアンケート集計 生徒募集資料準備、地区別懇談会準備 学校要覧・教育計画発行
	6	校務運営会議・職員会議 学校教育指導（1次） 教育課程委員会	宿泊研修、地区別懇談会、木の手づくり展（旭川） 生徒募集パンフレット発行、学校祭宿泊とりまとめ開始 中学校訪問準備・打ち合わせ、各進学フェア
	7	校務運営会議・職員会議 学校祭	村民運動会、学校祭保護者懇親会、全校集会（夏休み前） 発送文書とりまとめ、一日体験入学実施要項 学校案内送付
	8	校務運営会議・職員会議	学校案内資料送付準備、木の手づくり展（札幌） 全校集会（夏休み明け）、中学校訪問（教育委員会）
後 期	9	校務運営会議・職員会議 中間反省会議（分掌打合） 中間反省会議 全校集会	高大連携教育（テザインスクール）、一日体験入学準備 地区別懇談会実施要項、中間反省会議取りまとめ 前期終業式、発送文書とりまとめ（地区懇文書）
	10	校務運営会議・職員会議 一日体験入学 70周年行事	国際理解教育生徒派遣、後期始業式、地区別懇談会準備 70周年行事準備、一日体験入学準備
	11	学校教育指導（2次） 校務運営会議・職員会議	地区別懇談会
	12	校務運営会議・職員会議	全校集会（冬休み前）、発送文書とりまとめ 卒業式実施要項
	1	校務運営会議・職員会議	全校集会（冬休み明け）、年間行事計画作成準備
	2	校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学者選抜（推薦）	卒業式案内発送（3学年） 卒業式準備、卒業式予行 PTA体文役員会
	3	校務運営会議・職員会議 入学者選抜（一般） 入学者選抜（二次募集） 年度末反省会議	卒業証書授与式、高大連携教育、新年度年間行事計画 入学式実施要項、修了式、発送文書とりまとめ（1・2年）

## 7 達成目標（評価の視点）

- ・ 教職員で問題を共有し、校務の改善を進めたか  
短・中・長期に問題を分類し、取り組む
- ・ 実態に即した募集活動を行うことが出来たか  
1. 2倍以上確保

## <教 務 部>

### 1 活動目標

学校教育目標をもとに生徒の特性と実態に適合した教育課程・指導計画及び評価を確立し、校務の円滑な運営とともに実施する。

### 2 今年度の重点課題

- (1) 生徒の基礎学力向上と学習習慣の改善
- (2) 生徒の思考力・判断力・表現力を育成する教育課程の作成
- (3) 教員の研修充実と授業力の向上
- (4) 教務的業務の円滑な遂行、及び校務の効率化

### 3 課題解決の方策

- (1) 学びの基礎診断を活用し、国数英を中心に生徒が自主的に学習するための環境整備をするとともに、授業においても適切に課題を配信していく。また、自ら学ぶ意欲を喚起する教育の実践を目指す。
- (2) ①「思考力・判断力・表現力」を育成するための指導方法及び評価方法の工夫研究を行う。  
②教科横断的な学び・探究的な授業単元を開発し、生徒の言語能力、ICT活用能力、情報収集活用能力を伸長する。
- (3) 校内研修や研究授業を行い、授業協力体制を構築し、教職員が協力して多角的に検証し改善する。
- (4) ①学校間連携事業の移行年度（総務→教務）なので、問題なく職務遂行をする。  
②各種委員会及び他分掌との連携・協働する。  
③総合的な探究を課題研究で代替したことに付随する諸課題を解決する。

### 4 分掌構成・業務分担・各種委員会

委員会名	教務主担当者			主 管
	森下	河野	杉浦	
教育課程委員会	◎		●	教務部
入学者選抜委員会	◎	○	●	教務部
推薦委員会		○		進路指導部
業者選定委員会			○	事務
修学旅行委員会	○			総務部
教育相談委員会			○	生徒指導部
学校情報委員会	○		●	総務部
いじめ対策委員会	○			教頭

◎：委員のとりまとめ役 ○：分掌から選出する委員 ●その他から選出される

### 5 業務一覧表

	業 務	担当者	主な業務	他分掌等との関わり
総括 庶務	教育課程 指導要録 公文書 教務規程・在籍管理 教育課程表（A・B表） 学校設定教科・科目の申請 教育計画・学校要覧 選択科目、コース制 諸表簿（発注・集配） 教育課程表（C・D表） 教務支援システム管理 図書・図書館管理	森下 森下・他 教頭・森下 森下 森下 森下 森下 森下 森下 森下・杉浦 河野・森下	作成指示、点検 転出入、証明書発行等 規程の運用、細則整備	※工芸科との連動  ○教育課程委(森下) 工芸科との連動 校務運営会議との連動 ○推薦委・業者選定委・ いじめ対策委・学校評 議員会（主任）
学習指導 庶務	学習指導 行事計画 シラバス作成 学力等実態調査・学力向上対策 （授業に関するアンケート） LHR（キャリア） 教科書・副教材	森下・杉浦 森下・河野 河野・森下 森下・杉浦 森下・河野 森下・杉浦 河野・森下	研修・学力向上対策総括      (キャリア計画を元に)	※学びの基礎診断（国数英） ※学校間連携行事（工芸科）     ※進路行事（進路指導部）

	考査・成績処理 学校間連携事業	河野・森下 森下・河野		※工芸科・2学年授業担当者
時間割	日課管理 時間割作成 授業変更・時数統計	森下・河野 杉浦・河野 杉浦・河野	基本時間割 週時間割・時数統計	
研修	研修 資料収集 教育実習	森下・河野 森下・河野 森下・河野	校内外研修・初任者研 研修資料収集・視察	
入学者選抜	推薦入試・一般入試・二次募集	森下・河野・杉浦		○入学者選抜委(森下)

## 6 年間計画

	月	共通の会議・行事等	業務内容
前期	4	年度初職員会議 校務運営会議、職員会議 <u>→教育課程委員会(方針)</u> 学びの基礎診断アセスメント	入学者選抜結果状況報告、基本時間割作成、LHR計画 道徳教育計画、特別活動・総合的な学習の時間計画 新入生オリエンテーション、ガイダンス、学力実態調査 CD表・学校目標提出、シラバス作成、教育実習準備 学びの基礎診断オリエンテーション
	5	校務運営会議・職員会議 教育実習 第1回入学者選抜委員会 教育課程委員会	教育課程審議、昨年度の入選の反省と改善
	6	校務運営会議・職員会議 学校教育指導(1次) 前期中間考査 教育課程委員会	コース選択ガイダンス、単票提出・一覧表提出 成績会議資料作成・成績会議 授業改善研修会実施(校内研修)
	7	校務運営会議・職員会議	教科書採択
	8	校務運営会議・職員会議	コース選択希望調査、成績不振者・欠席超過者指導
	9	校務運営会議・職員会議 前期末考査 中間反省会議(分掌打合せ) 中間反省会議	単票提出、一覧表提出、成績会議資料作成、成績会議 成績不振者・欠席超過者指導
後期	10	校務運営会議・職員会議	入学者選抜要項作成
	11	学校教育指導(2次) 校務運営会議・職員会議 後期中間考査	(教育実習) 第2回入学者選抜委員会、単票提出 一覧表提出、成績会議資料作成、コース選択希望確定
	12	校務運営会議・職員会議	成績会議、欠時超過者補充、入学者選抜業務 準教科書・副教材採択
	1	校務運営会議・職員会議 学年末考査(3学年)	入学者選抜業務、単票提出、一覧表提出(3学年)
	2	校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学者選抜(推薦) 学年末考査(1・2学年)	成績会議資料作成、卒業認定会議、入学者選抜業務 単票提出、一覧表提出、成績会議資料作成、A・B表提出
	3	校務運営会議・職員会議 進級認定会議 入学者選抜(一般) 入学者選抜(二次募集)	学力実態調査(学年末考査後) 諸表簿・指導要録等点検(3年)、会議資料作成 成績不振者・欠時超過者指導、学年末時数統計処理 指導要録点検(1・2年)、入学者選抜業務、入学者選抜報告

## 7 達成目標(評価の視点と具体的な目標)

- (1) 学びの基礎診断での生徒の学習状況と学力の向上  
 生徒アンケートの結果改善
- (2) 生徒の思考力・判断力・表現力を育成する教育課程の作成  
 校内研修と個人研修を実施
- (3) 教員の研修充実と授業力の向上  
 教員の授業公開、協力体制の構築
- (4) 教務的業務の円滑な遂行、及び校務の効率化  
 アンケート・反省会議での意見吸い上げ

## <生徒指導部>

### 1 活動目標

- (1) 生徒の安全と基本的生活習慣の定着を図り、健康な学校生活を育成する。
- (2) 主体的で自律的な生徒の活動、寮生活を支援する。

### 2 今年度の重点課題

- (1) 安全で健全な生活の育成、基本的生活習慣の定着。
  - ・規範意識と向上心、社会人の基礎力としての社会性の育成。
  - ・生命を大切にし、主体的に心身を鍛える生徒の育成。
  - ・清掃美化や施設の保全に意欲的に取り組める生徒の育成。
- (2) 多面的な生徒理解を深める。
  - ・カウンセリング機能の充実と対話の深化。
  - ・校内外での生活、学習、心身の健康状態の理解と、教職員間の情報共有。
- (3) 主体的、自律的な生徒活動の保証。
  - ・主体性、責任、自律を目指した生徒会活動、寮生会活動の育成。
  - ・計画と達成像の明確化。

### 3 課題解決の方策

- (1) 各規則、指導方針、目指す姿を明示し、生徒間に理解を進める。
  - ・集団生活に大切な規範と個人の希望を峻別して意識させる。
- (2) 業務整理に取り組み、生徒対話、家庭との連携を深める。
  - ・さまざまな場面での生徒観察、情報、指導経過等を発信し共有する。
- (3) 逐次分掌部会をもち情報共有と意見交換、改善案の検討を進める。
  - ・諸活動それぞれの活動計画を把握し、内容の相互理解を進める。

### 4 分掌構成・業務分担・各種委員会

#### 《分掌構成・業務分担》

業 務	役 職	担 当 者
生徒指導	部 長	棚橋栄治
	部 員	下川さつき・石川朋美
寮 務	寮 監	北原貴志・佐藤雅隆
	寄 宿 舎 指 導 員	執行伸枝
	寮 職 員	永井満
	賄 管 理 人	加藤友幸・加藤みゆき
	舎 監 長	下川さつき
	副 舎 監 長	石川朋美

#### 《各種委員会》

委員会名	担 当 者				主 管
	棚橋	下川	石川	石沢	
入学者選抜委員会			○		教務部
国際理解教育委員会		○			総務部
修学旅行委員会		○			総務部
学校情報委員会			○		総務部
特別支援教育相談委員会	○			○	生徒指導部
教育保健委員会	○			○	生徒指導部
推薦委員会	○				進路指導部
いじめ対策委員会	○			○	教頭
業者選定委員会	○				事務部

### 5 業務一覧表

係	業 務 内 容	担 当 者	他分掌等との関わり
総括 庶務	年間計画作成 校外関係機関との連携 生徒指導心得の作成 オリエンテーションに関する事項 他	棚橋 棚橋 棚橋 棚橋	総務 生指協、警察等 教務、学年
生活指導	校内外における基本的生活習慣の育成 生徒心得の指導と検討 非行事故の未然防止指導 巡視指導の計画	棚橋 他 棚橋 棚橋 他 棚橋	村教推会

	各種講座の企画 ・薬物乱用防止・交通安全・防犯 ・ネットモラルおよび携帯電話利用マナー	棚橋 石川	医療・警察他 通信関係
健康安全	教育相談週間（春1年生、秋1・2年生、 3年生は進路関連で学年） 避難訓練	石川 棚橋・下川	学校・寮
保健環境	学校保健安全指導の計画作成 校内外の清掃と清掃計画の指導	石沢 石沢	
特別支援	村教育推進協議会特別支援部会への参加 ほっとの実施	石沢	村教推会
生徒会指導	生徒会活動、執行部指導 部活動の企画推進指導	石川・棚橋 石川・棚橋	教務・総務
	保健委員会：保健委員会の指導	石沢	執行部・学級
	生活委員会：生活委員会の指導	棚橋	
	図書委員会：図書委員会の指導	下川	
寮務	施設管理	北原・佐藤	村教育委員会
	生活指導全般	北原・佐藤 執行	指導部・学年情報交 換会
	寮清掃	永井	等
	食事	加藤	
	寮生会指導	下川・石沢・石川	生徒指導
	舎監	全教諭	

## 6 生徒指導年間計画

	月	共通の会議・行事等	生活・特別支援	生徒会指導	保健環境	寮務
期	4	年度初職員会議 校務運営会議、職員会議	オリエンテーシ ョン インターネット講話 休業中の心得	対面式 部活動確定 あいさつ運動	定期健康診断 始業前大掃除 見学旅行前健康相 談(3年)	入寮式 オリエンテーシ ョン
	5	校務運営会議・職員会議 1学年宿泊研修	スクールカウ ンセラー来校 (以後毎月) ほっと実施 1年生教育相談 校外巡視	生徒総会 高体連壮行会 あいさつ運動	定期健康診断 宿泊研修前健康相 談(1年)	春季休業 あいさつ運動 新入寮生歓迎会 避難訓練
	6	校務運営会議・職員会議 木の手づくり展(旭川) 3年生見学旅行	制服(夏冬)移行 期間 避難訓練 交通安全・防犯・薬 物乱用防止講話 校外巡視	学校祭生徒総会	歯の衛生週間	3年生寮生レク 2年生寮生レク 匠号バスツアー
	7	村民運動会 校務運営会議・職員会議	夏服期間 (9月まで) 休業中の心得	学校祭	休業前大掃除	匠号バスツアー 夏季休業
	8	校務運営会議・職員会議	校外巡視	あいさつ運動		夏季休業(帰寮)
	9	校務運営会議・職員会議 中間反省会議・強歩記録会 2年生デザインスクール	制服(夏冬)移行 期間 校外巡視	役員選挙	デザインスクール 前健康相談(3年) 強歩前健康相談	1年生寮生レク 避難訓練
後 期	10	校務運営会議・職員会議 一日体験入学	冬服期間 (～5月) 避難訓練 休業中の心得 1・2年生教育 相談 校外巡視	認証式	赤ちゃんとのふれ あい体験学習 (3年)	秋季休業 匠号バスツアー
	11	学校教育指導(2次) 校務運営会議・職員会議	校外巡視 ほっと実施			寮生総会 おといねっぷ祝 祭 寮生会役員選挙
	12	校務運営会議・職員会議	休業中の心得	体育祭	休業前大掃除 工芸棟大掃除	冬季休業
	1	校務運営会議・職員会議	校外巡視 休業中の心得	生徒会誌 クロカン部全国 大会壮行会		冬季休業(帰寮) 3年生を送る会

2	校務運営会議・職員会議 年度末反省会議 学校評議員会 入学者選抜（推薦）	スクールカウンセラー来校⑫ 校外巡視		入選前大掃除 卒業式前大掃除 性教育講話（2年）	家庭学習 （3年生帰省）
3	校務運営会議・職員会議 入学者選抜（一般） 入学者選抜（二次募集）	休業中の心得	卒業生教室装飾 次年度学校祭準備	年度末大掃除	学年末休業 （帰省）

## 7 学校保健安全計画

	保健目標	学校保健関係行事	保健管理		保健教育 保健指導	学校安全 安全管理・教育
			心身・生活	環境		
4	健康診断を受け、健康の状態を把握しよう	・定期健康診断 ・始業前大掃除 ・インターネット講話	・保健調査 ・健康観察の確認と実施 ・健康相談 ・健康診断の計画と実施と事後措置 ・疾病異常者の健康相談と生活指導	・清掃計画配布 ・日常点検の励行（1年間） ・大掃除の実施状況の点検	・健康診断の受け方 ・保健室の利用の仕方	・学校環境の安全点検 ・救急体制の確立 ・登校指導 ・JR乗車指導
5	疾病予防と早期発見に努めよう	・定期健康診断 ・宿泊研修前健康相談（1年） ・スクールカウンセラー ・宿泊研修	・健康観察の実施 ・健康相談 ・健康診断の実施と事後措置 ・疾病異常者の健康相談と生活指導 ・職員の健康診断		・望ましい生活リズム ・心身の健康	・学校環境の安全点検 ・交通安全指導 ・寮避難訓練 ・校外巡視
6	生活習慣を確立しよう	・歯の衛生週間 ・地区別懇談会 ・スクールカウンセラー ・薬物乱用防止、交通安全、防犯教室 ・見学旅行前健康相談（3年） ・見学旅行	・健康観察の実施 ・健康相談 ・歯みがき指導 ・食中毒・感染症予防 ・熱中症予防		・歯肉炎の予防 ・手洗いうがいの励行 ・食中毒の予防	・学校環境の安全点検 ・避難訓練 ・校外巡視
7 8	自主的な健康管理に努めよう	・村民運動会 ・学校祭 ・休業前大掃除 ・工芸棟大掃除 ・スクールカウンセラー	・村民運動会救護 ・健康観察の実施 ・健康相談 ・夏休みの健康生活指導と健康管理 ・夏休みの健康調査 ・治療勧告	・大掃除の実施状況の点検 ・清掃用具の点検 ・古紙回収	・夏季における心身の健康 ・熱中症予防	・学校環境の安全点検 ・学校祭の安全対策 ・食中毒の防止 ・長期休業前の生活指導 ・JR乗車指導 ・校外巡視
9	応急手当の方法を身につけよう	・デザインスクール前健康相談（2年） ・デザインスクール ・強歩記録会前健康相談 ・強歩記録会 ・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・疾病治療状況の把握 ・手洗い、うがいの励行		・障害の防止 ・応急手当の方法と実践	・学校環境の安全点検 ・寮避難訓練 ・強歩記録会の安全対策 ・校外巡視
10	目の健康について考えよう	・スクールカウンセラー ・赤ちゃんとのふれあい体験学習（3年）	・健康観察の実施 ・健康相談		・目によい生活	・学校環境の安全点検 ・長期休業前の生活指導 ・JR乗車指導 ・校外巡視
11	冬の健康管理をしっかりとしよう	・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・かぜやインフルエンザの予防		・インフルエンザの予防 ・手洗い、うがいの励行	・学校環境の安全点検 ・冬の交通安全指導 ・校外巡視
12	寒さに向けての体力増強をはかろう	・体育祭 ・休業前大掃除 ・工芸棟大掃除	・健康観察の実施 ・健康相談 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握 ・室内の換気及び手洗い ・うがいの励行 ・冬休みの健康生活指導	・大掃除の実施状況の点検 ・清掃用具の点検	・インフルエンザの予防 ・冬休みの生活	・学校環境の安全点検 ・長期休業前の生活指導 ・JR乗車指導

1	健康を意識した生活をしよう	・スクールカウンセラー	・健康観察の実施 ・健康相談 ・冬休みの健康調査 ・治療勧告 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握		・インフルエンザの予防	・学校環境の安全点検 ・校外巡視
2	心身の健康生活を実践しよう	・入選前大掃除 ・卒業式前大掃除 ・スクールカウンセラー ・性教育講話(2年)	・健康観察の実施 ・健康相談 ・かぜ、インフルエンザの罹患状況把握 ・室内の換気及び手洗い ・うがいの励行	・大掃除の実施状況の点検	・冬の体力と栄養	・学校環境の安全点検 ・校外巡視
3	1年間の生活を振り返り反省しよう	・年度末大掃除 ・工芸棟大掃除	・健康観察の実施 ・一年間の健康生活の反省 ・春休みの健康管理・生活指導 ・新年度の計画	・保健室の整備 ・学校環境衛生検査結果等のまとめと次年度への課題整理 ・大掃除の実施状況の点検 ・清掃用具の点検	・1年間の健康生活の反省	・学校環境の安全点検 ・JR乗車指導

## 8 達成目標（評価の視点）

### (1) 生活指導・特別支援

- ・ 基本的生活習慣の改善ができたか。
- ・ 教職員間における情報と指導意識の共有ができたか。
- ・ 生徒個々に目を向けた指導ができたか。
- ・ 講話が有意義なものであったか。

### (2) 生徒会、寮生会指導

- ・ 各行事、事業の充実に向けた指導ができたか。
- ・ 生徒会、寮生会の活動が主体的なものであったか。
- ・ 予算の執行が的確であったか。

### (3) 保健・環境

- ・ 生徒が主体的に健康管理や安全確保に努める姿勢を育成できたか。
- ・ 生徒が主体的に清掃に取り組み、環境衛生の意識を向上することができたか。

## <進路指導部>

### 1 活動目標

- (1) キャリア教育の推進による進路実現の充実
- (2) 早期からの計画的な進路指導
- (3) 模擬試験・資格取得の推進

### 2 今年度の重点課題

- (1) 進路意識を高め、キャリア発達課題の達成を目指し自己実現に向けて自発的に努力する態度を育成する。
- (2) 自己理解を深め、個性や能力・適性に応じて進路目標を設定する力を育成する。
- (3) 個に応じた進路開拓や情報収集・発信を図り、進路実現を達成する。

### 3 課題解決の方策

- (1) キャリア教育を踏まえた、教職員全体での3年間に渡る進路活動の確立
  - ・キャリア発達にかかわる諸能力・基礎的・汎用的能力との関係を明確化した3年間の計画を作成する。
  - ・キャリアパスポートを活用し、進路指導の充実を図る。
  - ・教員へ積極的に進路情報を提供する。
  - ・外部組織・講師との連携を行う。
- (2) 進路の手引きの活用と進路指導室運営の見直し
  - ・進路の手引きを活用し、3年間の見通しをもった進路活動を推進する。
  - ・進路室利用方法の明示と生徒への利用を喚起する。
  - ・計画的な模擬面接練習、生徒の状況に応じた面談・インターンシップを実施する。
- (3) 模擬試験・検定・進学講習の効果的な運営
  - ・検定・模擬試験の年間予定を保護者に送付するとともに各学年教室に掲示し計画的な受験を促す。
  - ・学級担任と教科担任の連携により学習および資格取得への意識の高揚を図る。
  - ・模擬試験前後に講習において指導を行い、進路実現に向けた学習活動の定着を図る。

### 4 分掌構成・業務担当・各種委員会

委員会名	担当者	主管
推薦委員会	角 南	進路指導部
業者選定委員会	角 南	事務長
修学旅行委員会	近 江	総務部
学校情報委員会	三 谷	総務部

### 5 業務一覧表

係	業務内容	担当
庶務	進路指導計画・各種送付文書・進路状況統計・資料作成・三者面談計画	角南・近江・三谷
進学	学校連絡・入学願書点検及び指導・模擬面接・進学講習	角南・近江・三谷
就職	職場連絡・履歴書点検及び指導・模擬面接・一般常識問題対策	角南・近江・三谷
渉外	進路開拓（学校、職場訪問等）・進路来客対応	角南・三谷
研修	職業講話・インターンシップ	角南・三谷
環境整備	資料整備（入学案内、求人票等）・相談室整備・掲示物	角南・三谷
奨学金	・北海道高等学校奨学会（在学中）に関する業務 ・日本学生支援機構（進学後）に関する業務 ・その他の奨学金に関する業務	近江 近江 近江・三谷



## 6 年間計画

月	第1学年	第2学年	第3学年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや意見を適切に伝え、互いに支えわかり合える友人関係を築く力をつける。</li> <li>○自分の能力・適性を理解し、それを伸ばす努力をする。</li> <li>○進路や職業に関する様々な情報を収集・探索し、実現に向けて適切な計画を立てる力を養う。</li> <li>○働くこと・学ぶことの意義を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の役割や他者の個性を理解し、協働して物事を進める力をつける。</li> <li>○自分の興味・関心や個性を理解し、自分から進んで行動する態度を育てる。</li> <li>○職業についての総合的・現実的な理解にもとづき、自分の将来像を設計し、進路計画を立てる力を育てる。</li> <li>○将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解し、行動させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーダー・フォロワーシップを発揮して相手の能力を引き出し、チームワークを高める力や態度を育てる。</li> <li>○社会との関わり方を考えながら、自己の職業的な能力・適性を伸ばすよう努力する態度を育てる。</li> <li>○将来設計、進路希望の実現を目指して課題を設定し、その解決に取り組む姿勢を身につけさせる。</li> <li>○生きがい・やりがいがあり自己を活かせる生き方や進路を現実的に考えさせる。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲新入生オリエンテーション</li> <li>★進路適性検査（スタディサプリ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路希望調査（春季休業中）</li> <li>▲進路講話①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路希望調査（春季休業中）</li> <li>★進路の流れ再確認</li> <li>★進路決定に向けて</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼公務員模試</li> <li>★進路適性ガイダンス（4月実施適性検査を基にした自己理解）</li> <li>▼英語検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼公務員模試</li> <li>▼英語検定</li> <li>▲進路講話②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼公務員模試</li> <li>●日本学生支援機構申込（第1回）</li> <li>▲進路ガイダンス（志望理由書・履歴書の書き方）</li> <li>▲面接の仕方</li> <li>▼英語検定</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲進路面談 ▲地区懇談会</li> <li>▼公務員模試 ▼漢字検定</li> <li>▲コース制ガイダンス</li> <li>▲美術系進路ガイダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲進路面談 ▲地区懇談会</li> <li>▼公務員模試 ▼漢字検定</li> <li>▲前期インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲進路面談 ▲地区懇談会</li> <li>●日本学生支援機構申込（第2回）</li> <li>●進路用写真撮影</li> <li>▼公務員模試 ▼漢字検定</li> <li>▲前期インターンシップ</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼公務員模試</li> <li>★適性検査（クレペリン）</li> <li>▼ベネッセ総合学力テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼公務員模試</li> <li>▲職業別ガイダンス</li> <li>▼ベネッセ総合学力テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>求人票公開</li> <li>▼公務員模試</li> <li>●三者面談（夏季休業中）</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲進路面談（希望者）</li> <li>▼漢字検定</li> <li>▼職業・進路別ガイダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼漢字検定</li> <li>▼職業・進路別ガイダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲自衛官講習</li> <li>●進路希望調査（夏季休業中）</li> <li>▲模擬面接指導開始（個別）</li> <li>●就職推薦会議</li> <li>▼漢字検定</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路希望調査（学期間休業中）</li> <li>★前期の反省（キャリアパスポート）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●進路希望調査（学期間休業中）</li> <li>▲●デザインスクール</li> <li>★前期の反省（キャリアパスポート）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学総合型選抜開始</li> <li>▼ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試</li> <li>●就職・進学推薦会議</li> <li>就職応募・採用開始（併願不可）</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲進路面談（希望者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲進路面談（希望者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テスト出願</li> <li>▼ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試</li> <li>専門学校学校推薦型選抜開始</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲地区懇談会</li> <li>▼ベネッセ総合学力テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲地区懇談会</li> <li>▼ベネッセ総合学力テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期就職応募・採用開始（併願可）</li> <li>●国公立・私立大学学校推薦型選抜開始</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲後期インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲後期インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★1年間の反省（キャリアパスポート）</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>★先輩の声を聞く会</li> <li>▼英語検定 ▼漢字検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★先輩の声を聞く会</li> <li>▼英語検定 ▼漢字検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★先輩の声を聞く会（1、2年へ派遣）</li> <li>▼英語検定 ▼漢字検定</li> <li>大学入学共通テスト</li> <li>●私立大学一般選抜開始</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>★進路規定について</li> <li>▲進路面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲求人票の見方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学一般選抜前期日程開始</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>★進級を前に（作文、キャリアパスポート）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲進路講話</li> <li>★進級を前に（作文、キャリアパスポート）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業式</li> <li>国公立大学一般選抜中期・後期日程開始</li> </ul>

●：行事等 ★：LHRでの指導 ▲：その他 ▼：検定・模試

## 7 達成目標（評価の視点）

- (1) キャリア教育の推進により進路実現が充実したか。
- (2) 早期からの計画的な進路指導ができたか。
- (3) 模擬試験・資格取得が推進されたか。

# 学年・学級経営計画

第1学年 学級経営案

担任：杉浦 誠 耶 副担任：下川 さつき

学級目標：たんぽぽ ～団結し何度でも諦めないで立ち向かう～		
学級経営	1. 学校生活・寮生活を通して規律ある生活をおくり、自律する姿勢や協調性を育む。 2. 自らの将来と向き合い、その実現のために必要な努力を継続する力を育む。 3. 他者との関わりを大切にし、思いやり、支え合う心を育む。	
学年目標	1. 学習指導：自ら学び、継続的に学習する習慣を形成する。 2. 生徒指導：基本的な生活習慣を確立する。 3. 進路指導：自己理解を深め、将来を意識した進路活動を行う。 4. 健康・安全指導：安全に対する認識を深め、自己管理能力を形成する。	
前期	前期 指導の重点：寮生活、学校生活における基本的な規則を身につけさせる。	
	4月 ○本校の特色を理解するとともに、高校生活での目的意識を持たせる。 ○高校生活、寮生活の規律の確認及び適応の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入寮式、入学式</li> <li>・高体連</li> <li>・高大連携教育</li> <li>・宿泊研修</li> <li>・森林探訪</li> <li>・前期中間考査</li> <li>・村民運動会</li> <li>・学校祭</li> <li>・全校集会</li> <li>・木の手づくり展</li> <li>・高文連</li> <li>・前期期末考査</li> <li>・強歩記録会</li> <li>・前期終業式</li> </ul>
	5月 ○個別面談をおし、生徒理解に努める。 ○基本的生活習慣の確立を図る。 ○宿泊研修をおし、自己理解を深め、他を尊重する集団意識を養う。	
	6月 ○森林探訪をおし、北海道の木の性質や自然の大切さを理解させる。 ○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。	
	7月 ○学校祭をおし仲間の大切さを理解させると共に、協調性、主体性を養う。 ○長期休暇の過ごし方指導をする。	
	8月 ○生活規律、学習態度の見直しと徹底に努める。身だしなみ指導。 ○個別面談をおし、生徒理解に努める。	
	9月 ○前期期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○強歩記録会をおし安全と健康への意識向上を図る。 ○前期の反省、評価を行い、後期の目標と見直しをもたせる。	
	後期 指導の重点：将来に向けて目標を持たせ、進路意識を高める。	
	10月 ○学習相談をおし、個々の目標への意識作りを行う。	
11月 ○健康等の自己管理能力の育成を図る。 ○進路指導を行い、意識の高揚を図る。 ○後期中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。		
後期	12月 ○体育祭をおし、団結することの意義を理解し、クラスの連帯感を高める。 ○長期休暇の過ごし方指導をする。	
	1月 ○個別面談をおして生徒理解に努める。 ○卒業制作発表、3年生を送る会の活動をおし、上級学年になることへの意識作りを行う。	
	2月 ○学年末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○学習相談をおし、個々の目標に向けた具体的な取り組みの指導を行う。	
	3月 ○自分の適性を理解させ、目標と実現のための見直しを持たせる。 ○本年度の反省、評価を行い、次年度の計画を立てさせる。	
	達成目標	1. 学校生活、寮生活における規律を守り、自律する姿勢や協調性を身に付けることができたか。 2. 主体的に学習を継続する習慣を身につけることができたか。 3. 自ら目標を設定し、それに向かい必要な努力を行う姿勢を身に付けることができたか。 4. 自己の適性について理解し、進路に対する意識を持たせることができたか。 5. 学校生活や寮生活をおし、安全に対する認識を深め自己管理をする能力を育めたか。
評価視点		

前期学級組織

学級委員長：西 萌 絵	生徒会	寮生会
副委員長：松 前 栞		
書記：濱 岡 友実		
書記：藤 井 一海		
会計：安 念 未喜		

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員	学校祭実行委員
板橋 柚輝	成田 胡太郎	芦名 彩華	米本 胡晴	宮尾 若奈
菊地 華加	金浦 美宇	森 夏泉	矢板 一紀	村上 花楓

学習係	体育係	食事係	掲示係	庶務係	号令係
水野 花菜	伊勢谷 那月	中野 陽色	栗栖 幸那	岩田 響喜	渡辺 鼓太郎
熊谷 琉平	中村 風汰	鈴木 沙柚	山本 夷吹	松本 実優	後藤 大志
今関 新太郎		村上 慈和		矢野 美輝	
鎌田 美優		三宅 創汰			
奥口 真人		吉田 怜央			
佐藤 一樹		小坂 舞			
稲津 煌士					
黒江 康太					

第2学年 学級経営案

担任：近江建心 副担任：石川朋美

学級目標：目標を設定し、その達成のために自身に必要な力を見極め計画的に物事を進める力を養う。		
学級経営	1. 目標を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、努力し続ける力を育む。 2. 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える関係性を作る。 3. 規律ある生活を送るために、自己管理する力を育む。	
学年目標	1. 学習指導：日常的かつ継続的な学習習慣を形成する。 2. 生徒指導：向上心を持ち、生活習慣の質の向上を目指して主体的に行動する。 3. 進路指導：自己理解を深め、進路目標に向けた取り組みを自ら行う。 4. 健康・安全指導：自己管理能力の育成と、他者に対する気配りの心を育成する。	
前期	前期 指導の重点：中堅学年としての自覚を持ち、自己を見つめ、他と強調して行動する力を育成する。	
	4月 ○学校・寮のルールを再確認し、中堅学年として自覚・実践させる。 ○コース制の趣旨を理解し自分の選択した科目を意欲的に取り組ませる。	・植樹祭 ・高体連大会
	5月 ○全体・個別指導を通して生徒理解に努める。 ○学習規律の徹底を図る。	・前期中間考査 ・村民運動会
	6月 ○中間考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○自己の適性や関心に基づいて進路について具体的に考えさせる。	・木の手づくり展 ・学校祭
	7月 ○学校祭をとおして協調性を高め、集団のために主体的に行動させる。 ○長期休暇の過ごし方と、進路に向けた活用の仕方を指導する。	・高文連大会 ・前期末考査
	8月 ○生活規律、学習態度の再確認と徹底に努める。 ○全体・個別指導を通して生徒理解に努める。	・高大連携教育 ・デザインスクール
	9月 ○前期期末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○デザインスクールを通して美術・工芸の見識を深め、意欲を喚起する。 ○デザインスクールを通して学級の間人間関係を深める。	・強歩記録会 ・前期終業式
	後期 指導の重点：進路について考え、目標を明確にし、一層の努力をする。	
	10月 ○前期の反省、評価を行い、後期への目標を持たせる。	・後期始業式 ・おといねっぶ祝祭
	11月 ○健康面における自己管理能力の育成を図る。 ○進路指導を行い、意欲の向上を図る。 ○後期中間考査への取り組み指導を行う。	・後期中間考査 ・体育祭
12月 ○長期休暇の過ごし方と、進路に向けた活用の仕方を指導する。 ○体育祭を通し、団結することの意義を理解し、クラスの連携を高める。	・卒業制作発表 ・3年生を送る会	
1月 ○見学旅行の計画を通し、段取り力を育成する。 ○卒業制作発表を通し、最上級学年としての意識作りを行う。	・学年末考査 ・卒業式	
2月 ○学年末考査への取り組み指導及び事後指導を行う。 ○進路個別面談を通し、個々の目標を明確にし、学習意欲を喚起する。	・修了式	
3月 ○1年間の反省、評価を行い、次年度への目標を持たせる。 ○卒業制作や学習課題について考えさせ、新年度を迎える意識を形成する。 ○仲間と協力し見学旅行に向け準備を進め、協調性と段取り力を育成する。		
達成目標 評価視点	1. 目標を設定し、学習・制作に主体的かつ継続的に取り組むよう支援できたか。 2. 規律を意識し、自律した生活を送らせることができたか。 3. 自己の適正についての理解を促し、進路に対する意識と段取り力を高められたか。 4. 他者との関わりの中で互いを思いやり支え合う力と自己管理能力をつけさせることができたか。	

前期学級組織

学級委員長：今野 菜々美	生徒会	寮生会
副委員長：小野 花季		
書記：小谷 真夕		
会計：伊藤 萌那		
書記：中村 玲那		
会計：庄内 梨乃		
書記：榎 谷天		

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員	学校祭実行委員
三成 命々 広瀬 奈々	上坂 明輝 藤井 海灯	覺間 夕貴 中村 優奈	中野 夏花 林 夏月	高谷 和 練合 七聖

学習係	体育係	食事係	掲示係	号令係
佐野 雄亮 栗木 響 五十嵐 公弥 宮田 琴羽 松山 萌生 須見 愛礼 平田 莉佳 小椋 咲 宍戸 希響	高橋 溪純 加藤 瑛夢	菊地 琳 野村 怜央 高橋 果純 高倉 夕妃那 矢野 奏海 伴 オリバー 明	萬谷 紅音 松本 梨花	宿谷 夏生 本間 悠

第3学年 学級経営

担任： 須藤 由希子

副担任： 河野 行宏

学級目標：毎日を大切に、夢や目標に向かい、継続的な努力をする。			
学級経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最上級学年として学校を牽引する意識を持ち、規律ある生活を送る。</li> <li>2. 夢や目標を持ち、その実現に向けて自ら行動し努力し続ける力の育成。</li> <li>3. 集団生活の中で、他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える関係性を作る。</li> </ol>		
学年目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習指導：計画性を持ち、主体的・継続的な学習習慣を確立する。</li> <li>2. 生徒指導：向上心を持ち、自律する態度と他を思いやる協調性を養う。</li> <li>3. 進路指導：自己理解を深め、進路目標実現のために必要な行動ができる力を養う。</li> <li>4. 健康・安全指導：より良く充実した生活を送ろうとする意欲と自己管理能力を高める。</li> </ol>		
前期	前期 指導の重点：進路意識を高め、自己実現に向けて努力する。 4月 ○最上級学年としての自覚を持たせる。 ○進路実現を目指した計画と行動を、主体的に取り組ませる。 ○個別面談を通して生徒理解に努め、自己理解を深めさせる。 5月 ○全体・個別指導を通して生徒理解に努め、進路意識の高揚を図る。 ○前期中間考査への取り組み方を指導する。 ○進学に向けた指導を行う。(面接指導全体) 6月 ○学校祭に向けての指導を行う。 ○進路に向けた指導を行う。 7月 ○学校祭に向けての指導を行う。 ○長期休暇の過ごし方を指導する。 ○三者面談を通して進路希望の決定を促す。 8月 ○就職試験に向けた指導を行う。 ○進学に向けた指導を行う。 9月 ○前期末考査への取り組み方を指導する。 ○就職試験に向けた指導を行う。 ○進学に向けた指導を行う。(面接指導個別)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入寮生歓迎会</li> <li>・高体連大会</li> <li>・インターンシップ</li> <li>・3学年寮レク</li> <li>・前期中間考査</li> <li>・見学旅行</li> <li>・高大連携授業</li> <li>・地区別懇談会</li> <li>・村民運動会</li> <li>・木の手づくり展</li> <li>・学校祭</li> <li>・三者面談</li> <li>・前期末考査</li> <li>・強歩記録会</li> </ul>	
	後期	後期 指導の重点：進路実現を達成する。 10月 ○面接指導を行う。(個別) 11月 ○後期中間考査への取り組み方を指導する。 ○面接指導を行う。(個別) ○進路決定後の心構えを指導する。 12月 ○卒業制作発表及び、3年間の学びのまとめ活動を行わせる。 ○進路未決定者への指導を行う。(個別) 1月 ○3年間の学習の成果をまとめさせ、卒業後の人生設計を行わせる。 ○学年末考査への取り組み方を指導する。 ○家庭学習期間中の心構えについて指導する。 2月 ○卒業式に向けた指導を行う。 3月 ○卒業式後の生活、社会人としての心構えについて指導する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高大連携授業</li> <li>・後期中間考査</li> <li>・おといねっふ祝祭</li> <li>・体育祭</li> <li>・卒業制作発表</li> <li>・三年生を送る会</li> <li>・学年末考査</li> <li>・卒業式</li> </ul>
		達成目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計画性をもって学習に臨むとともに、主体的・継続的に学習に取り組むことができたか。</li> <li>2. 規律を守るとともに、他者と協調して互いに気遣い合う雰囲気を作ろうとしたか。</li> <li>3. 自己理解を深め、自ら目標を持ち、計画的に進路活動を進められたか。</li> <li>4. 生活の質向上のため、自己管理を意識し、安全かつ健康な生活を送ろうとしたか。</li> </ol>

前期学級組織

学級委員長：小池透矢	生徒会	寮生会
副委員長：吉川瑠那		
書記：藍山彩花		
会計：後藤あすか		

生活委員	保健委員	図書委員	選挙管理委員	学校祭実行委員
馬場健輔 坂井楓奈	伊藤晋之介 吉原聖茄	西川美桜 濱里彩音	草刈一葉 佐藤虎大朗	飯田優花 石田芽衣

学習係	体育係	号令係	見学旅行委員	アルバム・文集係
齊藤仁胡 澤冬馬 佐藤琳 菅原芙丹 白川伊織 長谷川千尋 我満陽	佐原光 瀬川晴己 庶務・掲示係 片山葉月 西山和心 堀内拓真	岡本祐奈 木村亜土 食事係 笠井愛心 小亀弦 杉野倫瑚	石田芽衣 後藤あすか 三橋桃子 馬場健輔	藍彩花 伊藤晋之介 岡本祐奈 草刈一葉 西川美桜 西山和心 長谷川千尋 堀内拓真 吉原聖茄

# 学科（工芸科）経営計画

## 1 目標

- (1) 美術・工芸の学習体験をとおして、造形体験を豊かにし、造形的な表現と鑑賞、課題解決の能力を高め、文化の発展に寄与する態度と能力を養う。
- (2) 北海道の木材資源の工芸的活用を図り、地域・社会の振興に寄与する。

## 2 重点課題

- (1) 生徒一人ひとりの個性・想像力を大切にする造形教育の実践を推進する。
- (2) 多様な生徒に対応する教材の開発や指導方法の工夫により、個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 生徒個々の理解度・達成度を的確に捉え、適切な指導を行う。
- (4) 生徒個々の達成状況を段階的に評価・把握した上で、的確に次の目標を設定する。
- (5) 安全教育を徹底する。
- (6) 高大連携・学校間連携の実施と推進をする。
- (7) 教育課程の精選と検討の推進をする。

## 3 課題解決の方策

- (1) チームティーチングによるきめ細かい指導の実践
- (2) 生徒の習得段階に応じた教材の研究
- (3) 生徒の制作進度に対応できる個別・グループ指導の実践
- (4) 個人の達成目標を明確にした学習方法・評価の研究
- (5) 生徒への安全指導の徹底と継続（工芸棟使用法、機械操作法、止血法、服装頭髪指導等）
- (6) 高大連携・学校間連携の実施と推進に向けた研修
- (7) 教育課程の研修と内容の精選

## 4 達成目標

- (1) 安全教育を徹底できたか
- (2) 教育課程の検討を推進できたか
- (3) 教科の内容と進度を適正にできたか
- (4) 各種連携を適切に行えたか

## 5 業務分担

係	業務内容	担当
庶務	教育計画、木の手づくり展、渉外	○三谷、久保、澤口
消耗品・設備・材料管理	予算、消耗品購入および管理、設備の点検・整備・補充、材料購入計画及び管理指導	○三谷、澤口
高大連携・学校間連携	高大連携・学校間連携に関わる授業等の計画・連絡調整	○三谷、久保、須藤
安全教育	安全に関する指導	○須藤、下川、澤口
研修	校内研修、校外研修	○三谷、久保、角南、澤口
制作支援・デッサン	制作支援・デッサンの計画と指導	○三谷、久保、須藤、石川
各種委員会		担当
教育課程委員会	三谷、角南	
入学者選抜委員会	須藤	
国際理解教育委員会	下川	
修学旅行委員会	石川	
学校情報委員会	久保	

## 6 年間計画

月	内容
4	教育計画、1年用手工工具購入、1年用美術I用具購入、材料購入計画、新入生オリエンテーション
前期	植樹祭参加（2学年） ※高大連携 1学年「木工制作I」おもちゃの作り方（東海大学教官による連携授業） ※高大連携 3学年「課題研究」制作の進め方、ポートフォリオ、プレゼンテーションについて（東海大学教官による連携授業）
	木の手づくり展（旭川）旭川デザインギャラリー 森林探訪（1学年）
7	工芸棟大掃除計画、高総文祭（高知）
8	木の手づくり展（札幌）札幌創世スクエア 高文連道北支部美術展（美深）
9	※高大連携大学訪問 2学年 『デザインスクール』（東海大学校舎での連携授業） ※インテリア史『名作椅子について』を含む

	1 0	工芸棟大掃除計画、1日体験入学、卒業制作発表準備委員会立ち上げ
後期	1 1	村文化祭 ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」ポートフォリオ (東海大学教官による連携授業)
		※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」デザイン制作とプレゼンテーションの方法 (東海大学教官による連携授業)
	1 2	工芸棟大掃除計画、卒業生作品梱包
	1	卒業生作品梱包・発送 卒業制作発表(全学年授業)
	2	卒業制作作品集納品、卒業制作展示
	3	学年末工芸棟大掃除計画、高大連携事業打ち合わせ

## 7 概要

- (1) インテリア史
- ・ 目 標 デザイン・インテリアの歴史や様式を理解し、主体的にデザインを活用する能力を養う。
  - ・ 内 容 インテリア史…デザイン・インテリアの様式から身近な生活用具や家具の成り立ちを学び、機能と形態、技法の関連性を考え、作品づくりに生かす力を身に付ける。
- (2) 工業技術基礎
- ・ 目 標 工芸に使用される材料の諸性質及び、審美的な特質について理解させ、制作に必要な材料・工具・機械などを正しく使用し手工具を用い適切な方法で制作する能力を養う。
  - ・ 内 容 工業技術基礎…木材の加工をとおして性質、特性を理解し活用を学ぶ。
- (3) 木工制作Ⅰ・木工制作Ⅱ・課題研究
- ・ 目 標 工芸の造形的な創造活動をとおして表現と鑑賞の能力を一層高めるとともに、基礎的・基本的な知識と技術を習得し、工芸の在り方について理解を深め、探求課題を解決していく中で様々な資質・能力を高める。
  - ・ 内 容 木工制作Ⅰ…付加価値の高い技術性と審美的要素を備えた制作題材を設定し、加工・仕上げの技術を習得させるとともに創造と鑑賞の能力及び木材の知識を養う。  
木工制作Ⅱ…生活に関わりのある家具などに関する基礎的な知識と制作技術を習得させ、実際の生産に活用する能力を養う。  
課題研究…生徒の能力に応じて、生徒自ら美術・工芸において制作題材を設定し、主体性のある構想を練り制作、探求する。
- (4) 図法・製図
- ・ 目 標 製図に必要な基礎的な図法を理解させ、形態と図面の関係を明確にし、製図読図の能力を高めるとともに、構想の計画と、表示の能力を養う。
  - ・ 内 容 図法・製図…図法の種類と製図の基礎の習得と製図の実習をとおして作図と読図を学ぶ。
- (5) 選択科目 (工芸) 素描・工芸制作・工芸研究
- ・ 目 標 基礎基本の積み上げから、主体的に意匠加工を行う力を養う。
  - ・ 内 容 素 描…素描、クロッキー等の基礎的表現技法をとおし形態や構造の把握、空間の感覚及び表現する力を養う。  
工 芸 制 作…自らテーマやコンセプトを設定し、主体性のある構想を練り制作する力を養う。  
工 芸 研 究…工芸学習のまとめとし習得した技術を制作課題に生かし、自らを表現することをとおして総合的な視野を持つ造形力を養い、鑑賞力と豊かな心を育成する。
- (6) 選択科目 (美術) 素描・絵画・美術研究
- ・ 目 標 美術分野における基礎技術の習得と、それらを応用発展させ、総合的に表現する力を養う。
  - ・ 内 容 素 描…素描、クロッキー等の基礎的表現技法をとおし空間の感覚および表現する力を養う。  
絵 画…美術における各領域の基礎技法を制作をとおして学び表現力を高めるとともに、作品制作における構想の力を養う。  
美 術 研 究…油彩画の創造的な諸活動をとおして、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育て、感性と美意識を磨き個性豊かな美術の能力を高める。

## 8 学習系統について

### (1) 3年間の学習系統について（令和元年度入学生）

		1 学 年	2 学 年	3 学 年
基礎演習		<b>工業技術基礎 4 単位</b> ・工具の手入れ，使い方 <b>※美術 I 2 単位</b> <b>※工芸 I 2 単位</b> ・ペーパーナイフ，陶芸		
		<b>図法・製図 3 単位</b>		
応用と制作		<b>木工制作 I 3 単位</b> ・木製おもちゃ、カトラリーのデザイン ・制作，彫刻刀の使い方	<b>木工制作 II 6 単位</b> ・大型機械の使用法 ・スツール，チェスト	
	工芸		<b>素 描 1 単位</b> <b>工芸制作 4 単位</b> ・半期ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する	<b>工芸研究 4 単位</b> ・1年間の制作をコンセプトをたて設計し作品を制作する
理論と鑑賞	美術		<b>素 描 1 単位</b> <b>絵 画 4 単位</b>	<b>素 描 1 単位</b> <b>美術研究 3 単位</b>
	共通			<b>課題研究 6 単位</b> ・1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する
		<b>木材理論 1 単位</b>	<b>インテリア史 1 単位</b>	

※美術 I は必履修科目扱い

課題研究時数の変遷 3 単位（以前）→ 6 単位→ 4 単位→ 6 単位

### (2) 3年間の学習系統について（令和2年度入学生）

		1 学 年	2 学 年	3 学 年
基礎演習		<b>工業技術基礎 4 単位</b> ・工具の手入れ，使い方 <b>※美術 I 3 単位</b>		
		<b>図法・製図 3 単位</b>		
応用と制作		<b>木工制作 I 4 単位</b> ・木製おもちゃ、カトラリーのデザイン ・制作，彫刻刀の使い方 ・木材理論、工芸 I の学習	<b>木工制作 II 6 単位</b> ・大型機械の使用法 ・スツール，チェスト	
	工芸		<b>素 描 1 単位</b> <b>工芸制作 4 単位</b> ・半期ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する	<b>素描 1 単位</b> <b>工芸研究 4 単位</b> ・1年間の制作をコンセプトをたて設計し作品を制作する
理論と鑑賞	美術		<b>素 描 1 単位</b> <b>絵 画 4 単位</b>	<b>素 描 1 単位</b> <b>美術研究 4 単位</b>
	共通			<b>課題研究 6 単位</b> ・1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する
			<b>インテリア史 1 単位</b>	

※美術 I は必履修科目

(3) 3年間の学習系統について（令和3年度入学生カリキュラム案）

		1 学 年	2 学 年	3 学 年
基礎演習		<b>工業技術基礎 4単位</b> ・工具の手入れ，使い方 <b>※美術Ⅰ 2単位</b>		
		<b>図法・製図 2単位</b>		
応用と制作		<b>木工制作Ⅰ 4単位</b> ・木製おもちゃ、カトラリーのデザイン ・制作，彫刻刀の使い方 ・木材理論、工芸Ⅰの学習	<b>木工制作Ⅱ 4単位</b> ・大型機械の使用法 ・インテリア史 ・スツール，チェスト  <b>美術Ⅱ 2単位</b> ・美術Ⅰをより発展的に深く学習 ・素描、インテリア史（デザイン）	
	工芸		<b>工芸制作 4単位</b> ・半期ごとにコンセプトをたて設計し作品を制作する  <b>図法・製図 2単位</b>	<b>素描 2単位</b> <b>工芸研究 4単位</b> ・1年間の制作をコンセプトをたて設計し作品を制作する
	美術		<b>絵 画 4単位</b>  <b>美術概論 2単位</b> ・油彩、日本画、水彩等、様々な表現技法	<b>素 描 2単位</b> <b>美術研究 4単位</b>
理論と鑑賞	共通			<b>課題研究 6単位</b> ・1年間の制作の計画をたて工芸作品を制作する

※美術Ⅰは必履修科目



# 特別活動 全体計画

## 1 特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

## 2 内容

### (1) ホームルーム活動

#### ① 目標

ホームルーム活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてのホームルームや学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

#### ② 内容及び年間指導計画

省略（LHR活動年間指導計画を参照）

### (2) 生徒会活動

#### ① 目標

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

#### ② 内容及び年間指導計画

学期	月	活動内容	活動場所	時数	項目（※1）
前期	4	対面式	体育館	1	(1)(2)(3)
		図書室の使用方法	HR教室	—	(1)(3)
	5	生徒総会への議案作成	HR教室	—	(1)(3)
		生徒総会	体育館	1	(1)(3)(4)
		高体連壮行会（夏季）	体育館	—	(1)(4)
	6	学校祭希望調査	HR教室	—	(1)(3)(4)
		生徒総会（学校祭）	体育館	1	(1)(3)(4)
9	生徒会役員選挙前準備	HR教室	—	(1)(3)	
	生徒会役員選挙	体育館	1	(1)(3)	
後期	12	体育祭希望調査	HR教室	—	(1)(3)(4)
		おとねっぶ祝祭希望調査（※2）	HR教室	—	(1)(3)(4)
	1	高体連壮行会（冬季）	体育館	—	(1)(4)
3年生を送る会（※2）		体育館	—	(1)(4)	
—	—	寮生集会（※2）	寮内	—	(2)

※1 項目とは、次のとおり学習指導要領に示されている生徒会活動の内容である。  
 (1) 生徒会の計画や運営  
 (2) 異年齢集団による交流  
 (3) 生徒の諸活動についての連絡調整  
 (4) 学校行事への協力  
 (5) ボランティア活動などの社会参加

※2 寮生会の活動

### (3) 学校行事

#### ① 目標

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

#### ② 内容及び年間指導計画

学期	月	行事名	時数・学年			項目※1	他の教育活動との関連
			1	2	3		
前期	4	前期始業式		1	1	(1)	HR（事前指導）
		入学式準備		1	1	(1)	HR（事前指導）
		入学式	1			(1)	HR（事前指導）
		二計測	1	1	1	(3)	HR（事前指導）
		見学旅行結団式			1	(4)	HR（事前指導）
		見学旅行			30	(4)	HR（事前・事後指導）
		全校集会	1	1		(1)	HR（事前指導）
	5	全校集会	1	1	1	(1)	HR（事後指導）
		宿泊研修結団式	1			(4)	HR（事前指導）
	6	宿泊研修	18			(4)	教科・科目（美術・工芸）
		インターネット講話	1	1	1	(5)	HR（事後指導）
		避難訓練	1	1	1	(3)	HR（事前指導）
	7	交通安全・薬物乱用防止講話	1	1	1	(3)	教科・科目（保健・体育）
		学校祭準備	6	6	6	(2)	特別活動（生徒会活動）
		学校祭	12	12	12	(2)	特別活動（生徒会活動）
		学校祭後片づけ	2	2	2	(5)	特別活動（生徒会活動）
		大掃除	3	3	3	(5)	HR（事前指導）
8	全校集会	1	1	1	(1)	HR（事前指導）	
	全校集会	1	1	1	(1)	HR（事後指導）	
10	前期終業式	1	1	1	(1)	HR（事前指導）	

学期	月	行事名	時数・学年			項目※1	他の教育活動との関連
			1	2	3		
後期	10	後期始業式	1	1	1	(1)	HR (事前指導)
		大掃除	2	2	2	(5)	HR (事前指導)
		避難訓練	1	1	1	(3)	HR (事前指導)
	12	大掃除	3	3	3	(5)	HR (事前指導)
		全校集会	1	1	1	(1)	HR (事前指導)
	1	全校集会	1	1	1	(1)	HR (事前指導)
	2	大掃除	1	1	1	(5)	HR (事前指導)
		卒業式準備・予行	1	1	1	(1)	HR (事前指導)
		礼法指導・同窓会入会式			2	(1)	HR (事前指導)
	3	卒業式	3	3	3	(1)	HR (事前指導)
		大掃除	1	1		(5)	HR (事前指導)
		大掃除	2	2		(5)	HR (事前指導)
修了式		1	1		(1)	HR (事前指導)	

※1 項目とは、次のとおり学習指導要領に示されている内容である。

- (1)儀式的行事 (2)文化的行事 (3)健康安全・体育的行事 (4)旅行・宿泊的行事  
(5)勤労生産・奉仕的行事

### 3 特別活動の5つの観点

「ホームルーム活動」「生徒会活動」「学校行事」を通して育てたい能力や態度を明確にするべく、5つ観点を設定している。

- (A) 望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成  
(B) 個人的な資質の育成  
(C) 社会的な資質の育成  
(D) 自主的、実践的な態度の育成  
(E) 人間としての在り方生き方についての自覚と自己を生かす能力の育成

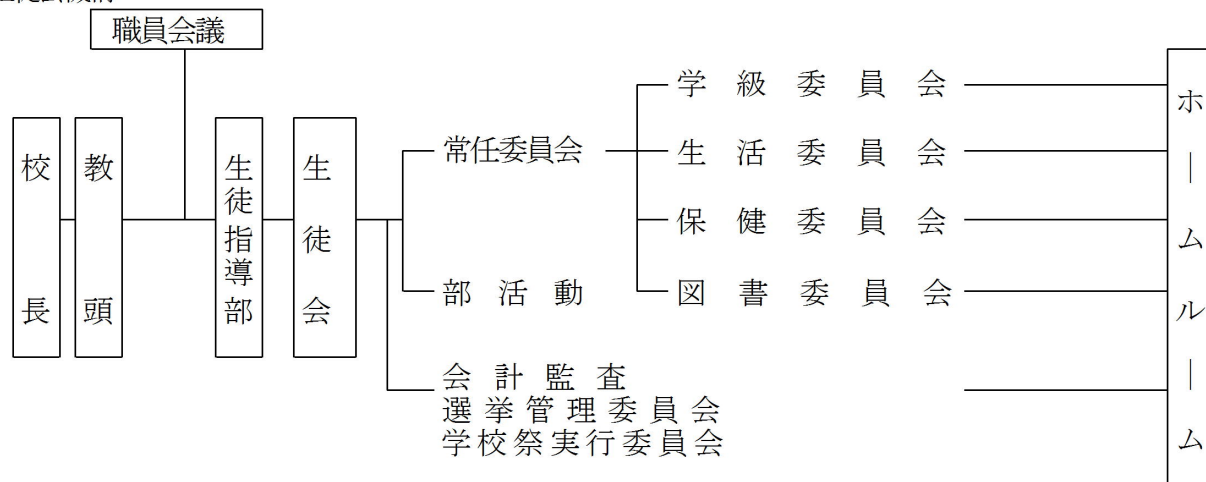
### 4 特別活動の項目

「項目」は、次のとおり学習指導要領に示されているホームルーム活動の内容である。

- (1) ホームルームや学校の生活づくり  
ア：ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決  
イ：ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動  
ウ：学校における多様な集団の生活の向上
- (2) 適応と成長及び健康安全  
ア：青年期の悩みや課題とその解決  
イ：自己及び他者の個性の理解と尊重  
ウ：社会生活における役割の自覚と自己責任  
エ：男女相互の理解と協力  
オ：コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立  
カ：ボランティア活動の意義の理解と参画  
キ：国際理解と国際交流  
ク：心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立  
ケ：生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立
- (3) 学業と進路  
ア：学ぶことと働くことの意義の理解  
イ：主体的な学習態度の確立と学校図書館の利用  
ウ：教科・科目の適切な選択  
エ：進路適性の理解と進路情報の活用  
オ：望ましい勤労観・職業観の確立  
カ：主体的な進路の選択決定と将来設計

## 5 組織編成

### (1) 生徒会機構



### (2) 生徒会役員

○会長： 長： 吉川 瑠那  
 ○副会長： 長： 片山 瑠葉  
 ○書記： 長： 仲山 柗  
 ○会計： 計： 須見 愛  
 ○会計監査： 栗 山 禮響

## 6 部活動組織

	アルペンスキー	クロスカントリースキー	バドミントン	工芸	美術	軽音楽	家政	文芸	計
男	5	5	4	12	8	3	1	1	39
女	1	4	5	16	22	17	6	2	73
計	6	9	9	28	30	20	7	3	112

## 7 部活動顧問一覧

部活動名	主顧問		副顧問	
アルペンスキー	林 一浩	石沢 寛悟		
クロスカントリースキー	棚橋 栄治	杉浦 誠耶		
バドミントン	近江 建心	河野 行宏		
工芸	久保 亜紀子	須藤 由希子	澤口 将達	三谷 佳典
美術	下川 さつき	角南 友繁	石川 朋美	三谷 佳典
軽音楽	杉浦 誠耶	須藤 由希子		
家政	石川 朋美	石沢 寛悟		
文芸	森下 瑛仁	河野 行宏		

# LHR活動年間指導計画

第1学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任：杉浦 誠 耶 副担任：下川 さつき

学 年 目 標		たんぼぼ ～団結し何度でも諦めないで立ち向かう～								
LHR 目 標		1 互いを認め合える人間関係を育成し、学級の連帯感を高める。 2 自らの特性を知り、将来を見つめ、自己を高める力を身につける。								
学 期	月	活 動 内 容	予 定 時 数	指 導 方 法 及 び 育 て たい 力	項 目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前 期	4	担任所信表明	2	担任講話、活気があり自立した生活を送る意欲	(1)ア		○	○		
		オリエンテーション	1	担任講話、クラスの団結・学校生活における規範	(2)オ	○				
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		対面式事前指導	1	自己紹介、自他への理解・学校生活への意欲	(2)イ	○			○	
		進路適性検査	1	自己理解を深める姿勢	(3)エ				○	
	5	宿泊研修事前指導	3	日程・内容の確認、積極的に参加する意欲	(1)イ				○	
		学校祭準備・指導	1	係分担決め、集団のために行動する姿勢	(2)ウ	○		○		
	6	学校祭係活動	2	より良い学校祭にするために協調する力	(1)ウ	○		○	○	
		進路適性ガイダンス	1	概要説明、主体的に参加する姿勢	(3)エ				○	
	後 期	7	学校祭準備・指導	9	コミュニケーション能力・発想力・行動力	(1)ウ	○		○	○
			適性検査(クラブ)	1	自己理解を深める姿勢	(3)エ				○
		8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク			○	
9		前期の反省	1	講話、自己を見つめなおす力	(1)イ		○		◎	○
後 期	10	後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
	11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性・危機管理能力	(2)ク	○			○	
	12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性・協調性と団結力	(2)オ	◎		○		
	1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク			○		
		先輩の声を聞く会	2		(3)エ			○		
	2	進路規程について知る	1	進路のしおりを使用	(3)カ			○		◎
		卒業式準備	1	心構え・礼法指導	(2)オ			○		
3	進級を前に(作文を含む)	1	講話、進級に向けての覚悟・計画性	(3)カ					○	

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

第2学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任： 近江 建心 副担任： 石川 朋美

学 年 目 標	目標を設定し、その達成のために自身に必要な力を見極め計画的に物事を進める力を養う。									
LHR 目 標	他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合える人間関係を構築する。 将来を意識し、自ら考え、積極的に行動する態度を養う。									
学 期	月	活 動 内 容	予 定 時 数	指 導 方 法 及 び 育 て たい 力	項 目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前 期	4	担任所信表明、心構え	1	担任講話、活気ある自立した生活を送る意欲	(1)ア		○	○		
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		スケジュール表の活用	1	見通しを持つ、計画性	(3)カ		○		◎	
	5	学校祭要項審議	1	学校祭要項審議、見通しを持った企画力	(1)ウ	○		○	◎	
	6	学校祭係活動	2	より良い学校祭にするために協調する力	(1)ウ	○		○	○	
	7	学校祭準備	9	コミュニケーション能力、発想力、行動力	(1)ウ	○		○	○	
8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク		○	○			
9	デザインスクール事前指導	1	目的確認、段取り力、自ら学び取る姿勢	(3)ア	○				◎	
	前期の反省	1	自己を見つめなおす力、向上心	(1)イ		○		◎	○	
後 期	10	後期へ向けて	1	高校生活後半への展望、進路のしおりの活用	(3)エ	○	○			
		後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		デザインスクール反省	2	学びを今後活かす力	(3)ア	○			◎	
	11	体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性、危機管理能力	(2)ク	○			○	
12	体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性、協調性と団結力	(2)オ	◎		○			
期	1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪点検、規範意識	(2)ク		○	○		
		先輩の声を聞く会	2	進路決定者の講話、進路意識と計画性	(3)エ			○	○	
		見学旅行事前準備	1	行程確認、段取り力、協調性	(2)イカ	○			○	
	2	卒業式準備	1	心構え・礼法指導	(2)ウケ			○	○	
		求人票の見方	1	進路のしおりを使用	(3)アエカ		○		○	
	3	進級を前に	1	講話、3年次に向けての強い覚悟、計画性	(3)アカ				◎	
		1年間の反省	1	自己を見つめなおす力、向上心	(1)イ		○		◎	
	見学旅行事前指導	2	目的確認、段取り力、協調性	(2)イカ	○			○		

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

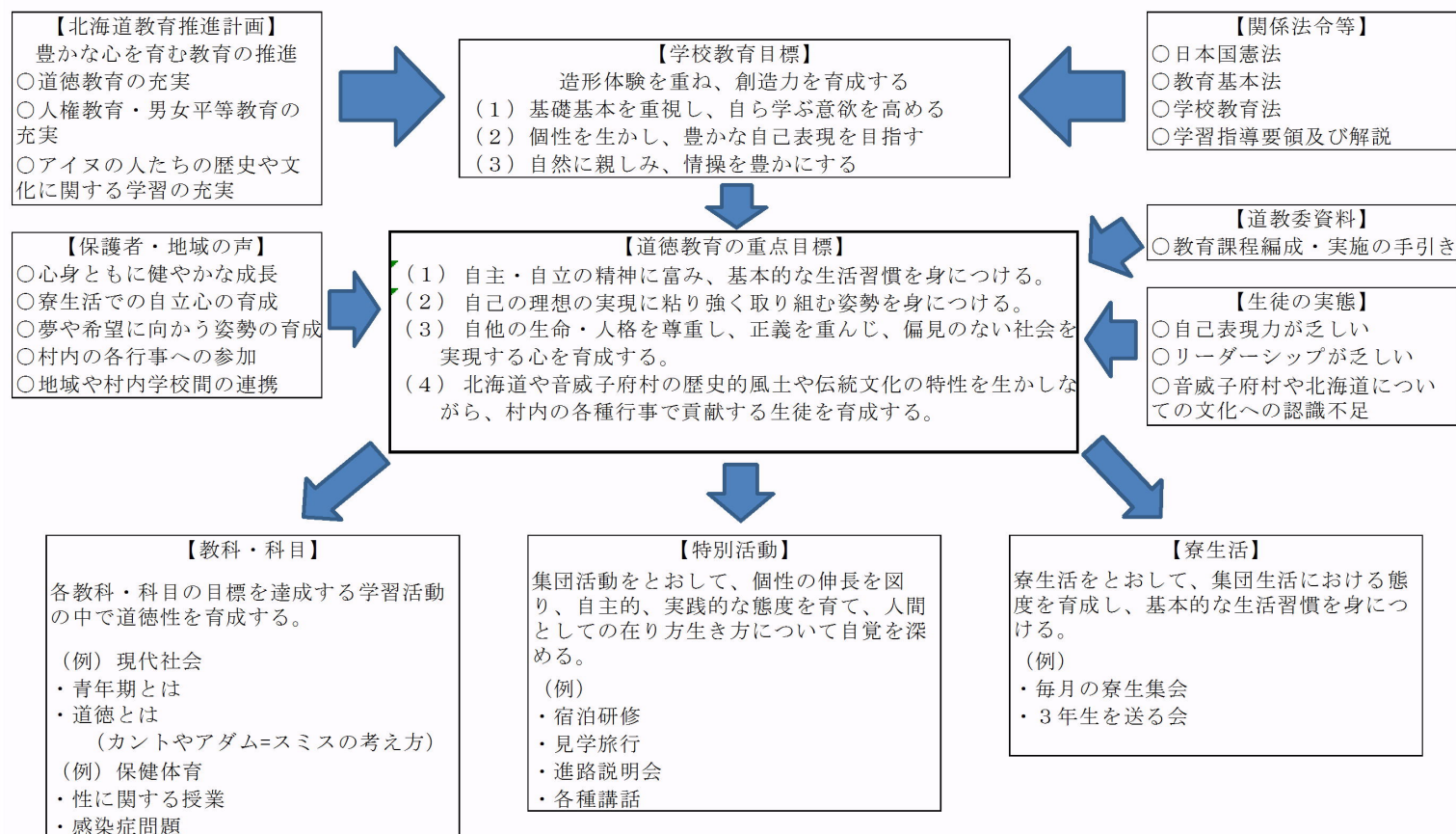
第3学年 ホームルーム活動年間指導計画 担任： 須藤 由希子 副担任： 河野 行宏

学年目標		1. 集団生活の中で他者を認め、自己を見つめ直し、互いに高め合い成長し合える関係を作る。 2. 夢や目標の実現に向けて、自ら必要な準備と行動をし、向上心を持ち努力し続ける力を育成する。								
LHR目標		・自己理解を深め、夢や目標に向かい、向上心を忘れずに努力し続ける。 ・自他を認め、互いに励まし合い、より良い人間関係を築けるコミュニケーション能力を高める。								
学期	月	活動内容	予定 時数	指導方法及び育てたい力	項目	5つの観点				
						A	B	C	D	E
前期	4	所信表明、心構え	1	担任講話、計画性や見通しを持って行動する力	(1)ア		○	○		
		前期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		進路の流れ再確認	1	進路実現に向けた計画性	(3)エ			○	○	
		進路決定に向けて	1	進路実現に向けた情報収集	(3)功			○	○	
	5	見学旅行事前指導	3	集団行動における自律心、協調性	(2)イウ	○			○	
		学校祭要項審議	1	学校祭要項審議、自主性と企画力	(1)ウ	○			◎	
	6	前期中間考査に向けて	1	考査前事前指導	(3)イ		◎		○	
			2	活気ある学校祭にするための自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
7		学校祭準備	9	活気ある学校祭にするための自主性と協調性	(1)ウ	○		○	○	
		見学旅行の振り返り	3	グループ発表、プレゼンテーション能力	(3)イ	○			○	
8	夏季休業明けLHR	1	服装・頭髪等検査、規範意識	(2)ク		○	○			
	前期末考査にむけて	1	考査前事前指導	(3)イ		◎		○		
後期	10	後期役員選出	1	役員選出、集団のために自ら行動する姿勢	(1)イ	◎			○	
		体育祭原案審議	1	体育祭審議、協調性、危機管理能力	(2)ク	○			○	
	11	内定・合格後の生活について	1	講話、自立・計画性	(3)カ		○			○
		体育祭練習	2	説明・ルール理解、自主性・協調性・団結力	(2)オ	○		○		
	12	1年間の反省	1	キャリアパスポート・自己を見つめなおす力	(2)ウク				○	
		1	冬季休業明けLHR	1	服装・頭髪等検査、規範意識	(2)ク		○	○	
家庭学習前指導	1		説明、自己管理能力	(2)ウ			○		○	
2	卒業式準備	1	説明、社会規範意識	(2)ウク			○		○	

※5つの観点 ◎～特に指導の重点とする観点、○～重視する観点

# 道徳教育 全体計画

## 1 道徳教育の重点目標（模式図）



●道徳教育推進教師 森下瑛仁

## 2 実施内容及び年間計画

学期	実施月	実施内容	実施学年
前期	4	新入生オリエンテーション	1
		対面式	全
		進路の流れ再確認	3
		職業と適性について	2
		進路講話	2
	5	宿泊研修	1
		植林祭	2
		進路適性ガイダンス	1
	6	森林探訪	1
		コース選択ガイダンス	1
		インターネット講話	全
	7	交通安全啓発活動	全
		村民運動会	全
交通安全・薬物乱用防止講話		全	
学校祭準備		全	
9	デザインスクール	2	
後期	10	赤ちゃん触れあい体験	3
	11	国際理解教育報告会	全
	1	3年生を送る会	全
		性教育講話	2
	2	卒業式予行	全
—	—	寮生集会（随時）	全
—	—	18歳選挙権講話（随時）	3

# 高大連携教育 計画

※ これは協定書調印に基づき、東海大学との高大連携教育計画をまとめたものである。

## 1 重点事項

- (1) 大学教育との連携をとおして、生徒の学習意欲・進路意識の向上を推進する。
- (2) 教育課程に位置付け、内容を充実させる。
- (3) 専門性を生かした連携により、将来、専門分野で活躍する人材の育成を推進する。
- (4) 高大連携の達成状況を段階的に評価・把握した上で、次の目標の設定をする。
- (5) 連携を教職員の研修と位置付け、資質の向上を推進する。
- (6) 連携の成果を生かし、地域への貢献を推進する。
- (7) 大学との連携内容について企画する。

## 2 課題解決の方策

- (1) 大学の専門教育を受講することにより、学習への興味・意欲を高める。
- (2) 大学での体験をとおして進路意識を高め具体化を推進する。
- (3) 実施ごとに生徒や教員による評価を行い改善を進める。
- (4) 成果をまとめ、情報の共有化と校内研修を推進する。
- (5) 連携で得た成果を開放講座などの地域交流に活かす。
- (6) 教育課程との関連を踏まえ、大学と連携についての検討を行う。

## 3 業務分担

係	業務内容	担当
庶務	実施計画、渉外	教頭、三谷
高大連携	高大連携に関わる授業等の計画・連絡調整	三谷、久保、須藤
研修	高大連携に関わる研修とまとめ	三谷、久保、角南、澤口

## 4 年間計画（令和2年度 ※が高大連携）

月	内容
4	教育計画、1年用手工具購入、材料購入計画
5	※高大連携 3学年「課題研究」卒業作品の制作（東海大学教官による連携授業） ※高大連携 1学年「木工制作Ⅰ」おもちゃの制作（東海大学教官による連携授業）
6	木の手づくり展、森林探訪（1学年）
7	工芸棟大掃除計画、高総文祭(高知)
8	木の手づくり展（札幌）、高文連道北支部美術展
9	※高大連携大学訪問 2学年 『デザインスクール』 3日日程（東海大学校舎での連携授業） ※高大連携 2学年「インテリア史」名作椅子の見学
10	工芸棟大掃除計画、1日体験入学、高文連全道大会 ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」卒業制作の導入（東海大学教官による連携授業）
11	村文化祭 ※高大連携 2学年「木工制作Ⅱ」ポートフォリオ（東海大学教官による連携授業） 2学年「木工制作Ⅱ」デザインとは、プレゼンテーション
12	工芸棟大掃除計画、卒業生作品梱包
1	卒業生作品梱包・発送 卒業制作発表（全学年授業）
2	卒業制作作品集納品、卒表制作展示
3	高大連携打ち合わせ（東海大学校舎にて） 学年末工芸棟大掃除計画

# 学校間連携教育 計画

## 1 村内教育推進協議会学校間連携部会の活動目標

この部会は、豊かな心を育むために、幼小中高が連携を取り合って、異校種間の接続を図るとともに、地域の特色を生かし、他者や社会及び、自然・環境と直接的な体験活動の充実と環境教育やふるさと教育への幅広い取組をすすめる。

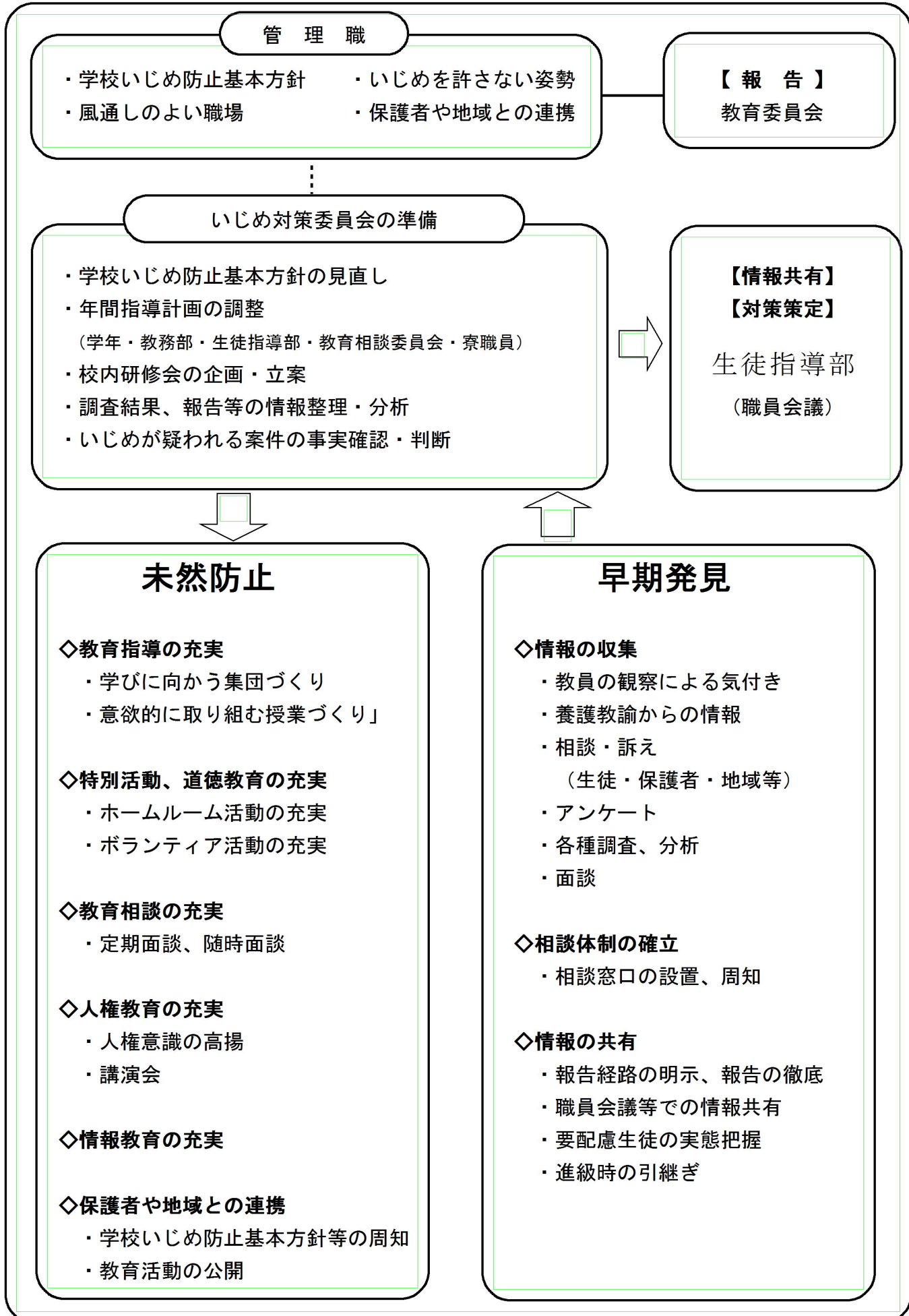
## 2 活動の内容

部会の協議により決定する。

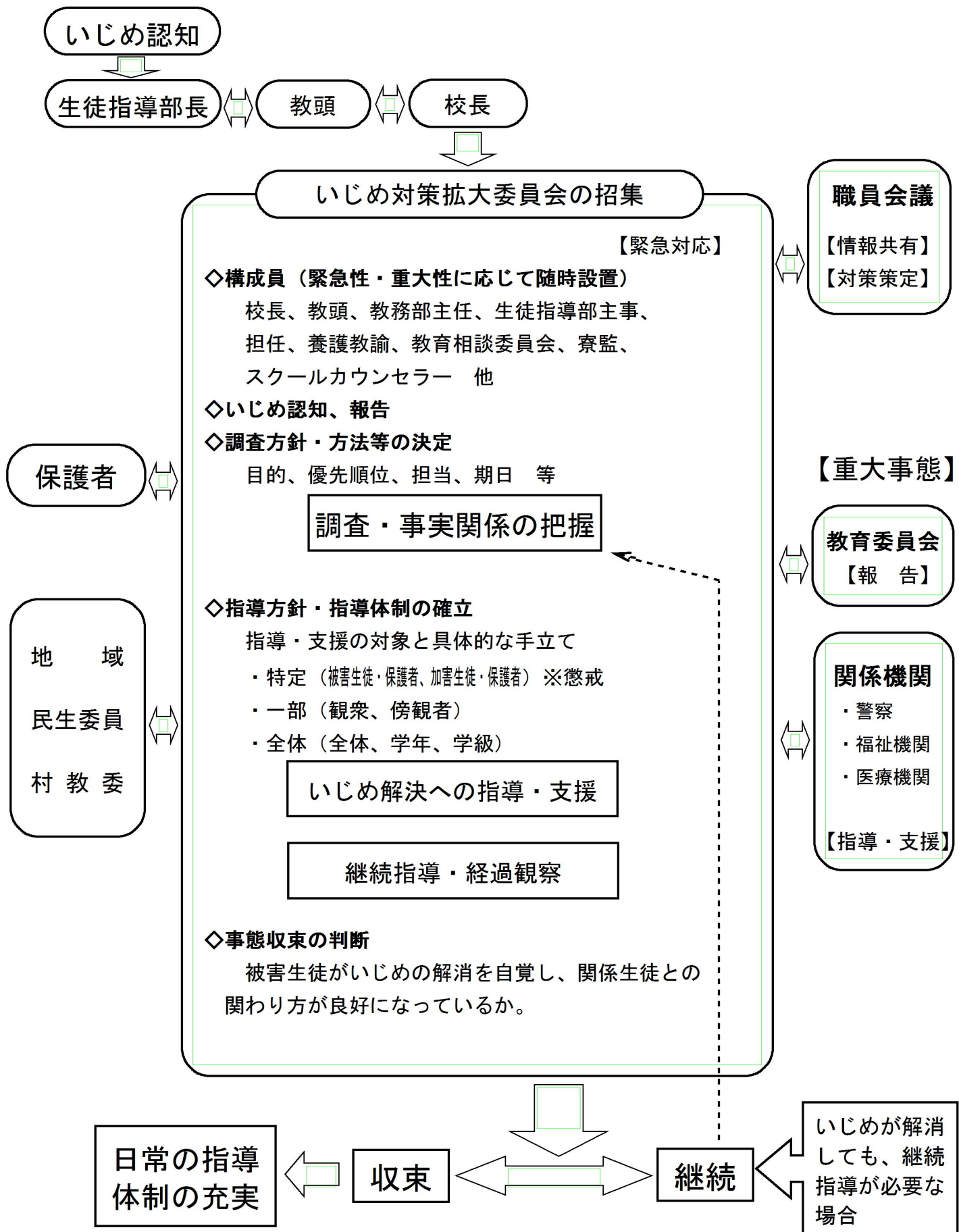


# いじめ対策

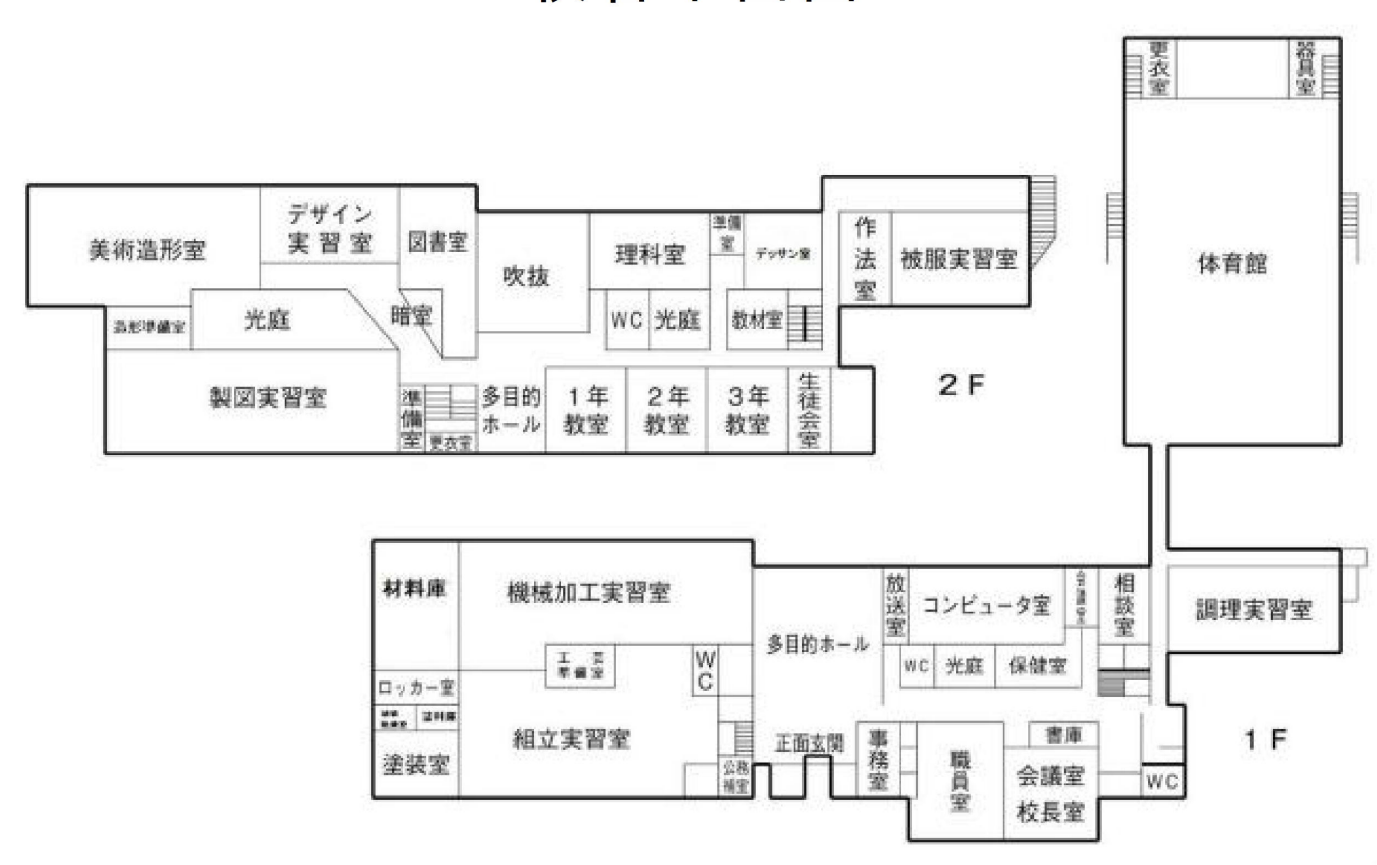
## 1 日常の指導体制（未然防止・早期発見）



2 重大事態・緊急時の組織対応



# 校舎平面図



## 施設設備の概要

### 1 図書室

分類	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	計
	総記	哲学 宗教	歴史 地誌	社会 科学	自然 科学	工学 工業	産業	芸術 運動	語学	文学	
冊数	272	171	275	221	241	72	16	431	92	1326	3117

### 2 組立実習室・機械加工実習室

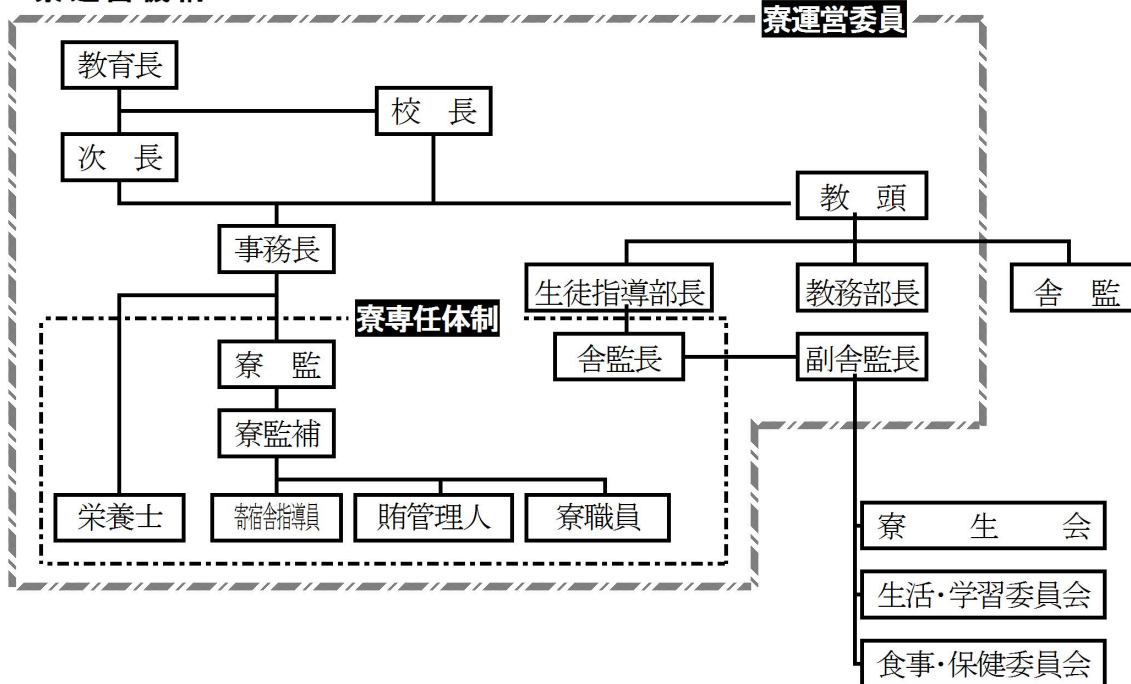
	品目	数量		品目	数量
1	自動一面鉋	1	20	ジグソー	2
2	手押鉋	1	21	ベルトサンダー	1
3	丸鋸昇降盤	1	22	木工旋盤	2
4	柄取機	1	23	ルーター	1
5	超仕上鉋盤	1	24	チップパー	2
6	研磨機	1	25	チェーンソー	3
7	角のみ機械	2	26	帯鋸	2
8	糸鋸機	11	27	コーナーロックマシン	1
9	プレス	2	28	軸傾斜丸鋸盤	1
10	電動木彫機	5	29	ジャンピングクロスカットソー	1
11	ハンドルーター	2	30	ボーリングマシン	1
12	電気ドリル	2	31	丸棒削機	1
13	乾燥機	1	32	トリマー	4
14	ボール盤	3	33	補助ローラ	1
15	コンプレッサ	3	34	レーザー加工機	1
16	サンダー	2	35	スポンジサンダー	1
17	移動式集塵機	3	36	卓上丸鋸盤	1
18	万能糸鋸盤	3	37	スピンドルサンダー	1
19	電動鋸	2	38	パネルソー	1

# チセネシリ寮概要

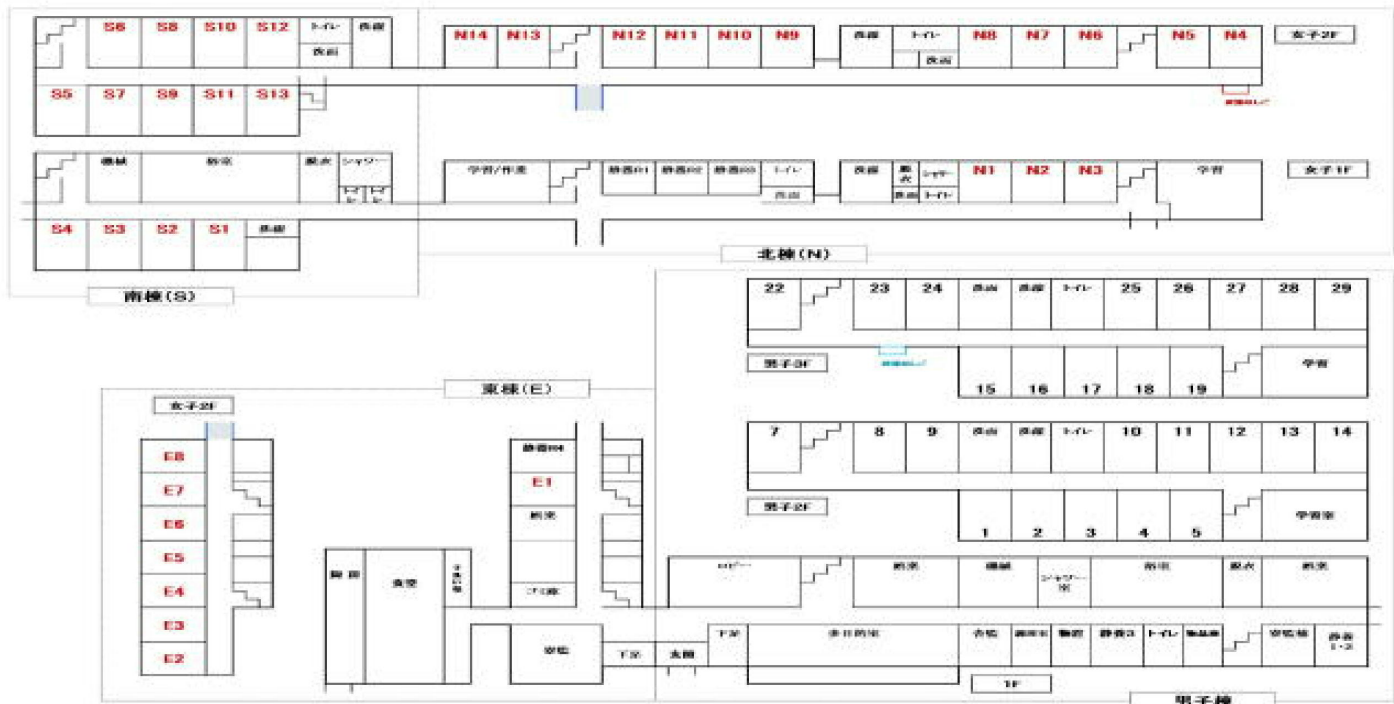
## 1 寮生数（令和2年4月9日現在）

	1 年	2 年	3 年	合 計
男子	17	8	13	38
女子	23	29	21	73
合計	40	37	34	111

## 2 寮運営機構



## 3 寮平面図



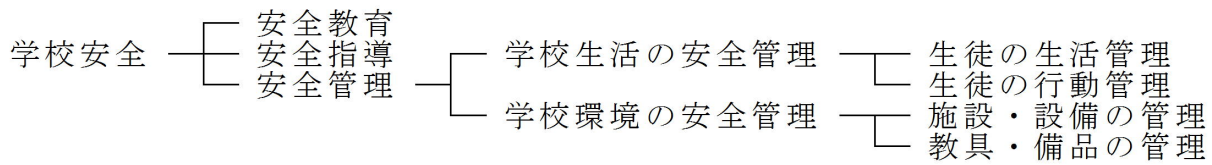
竣工 昭和55年11月30日  
 昭和63年11月30日 一部増築  
 平成13年8月17日 改修工事  
 平成22年3月31日 女子寮一部増築  
 平成26年3月28日 女子寮一部増築  
 平成27年8月13日 男子寮改修  
 平成4年3月31日 一部増築  
 平成14年8月18日 女子寮増築  
 平成28年1月31日 寮食堂新築

定員 男子116名，女子113名，合計229名

# 安全計画と安全管理

## 1 目的

学校における保健及び安全教育、安全指導、安全管理に関する計画を立て、生徒及び職員の保健保持推進を図り、学校教育の円滑な実施とその効果の保持に努める。

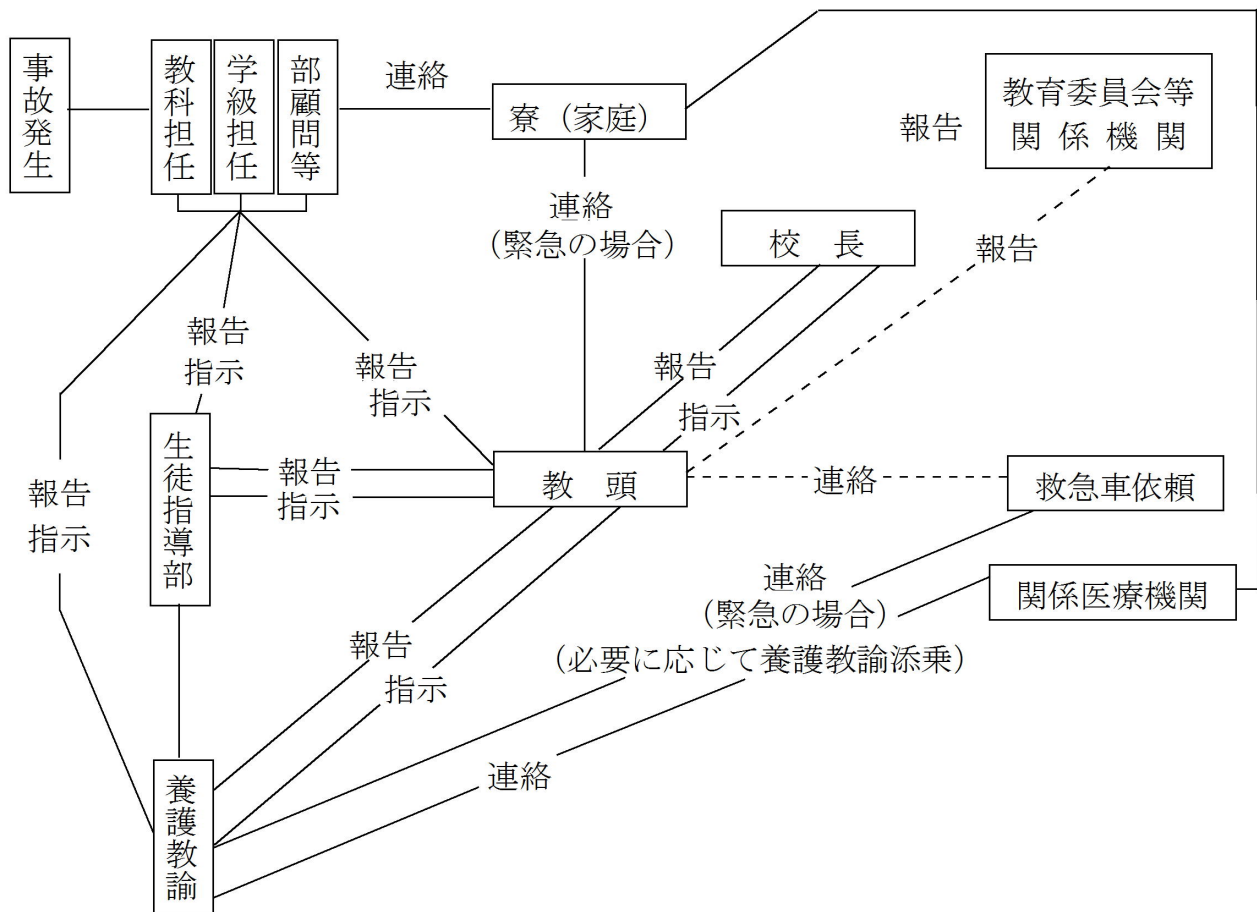


## 2 学校保健委員会組織

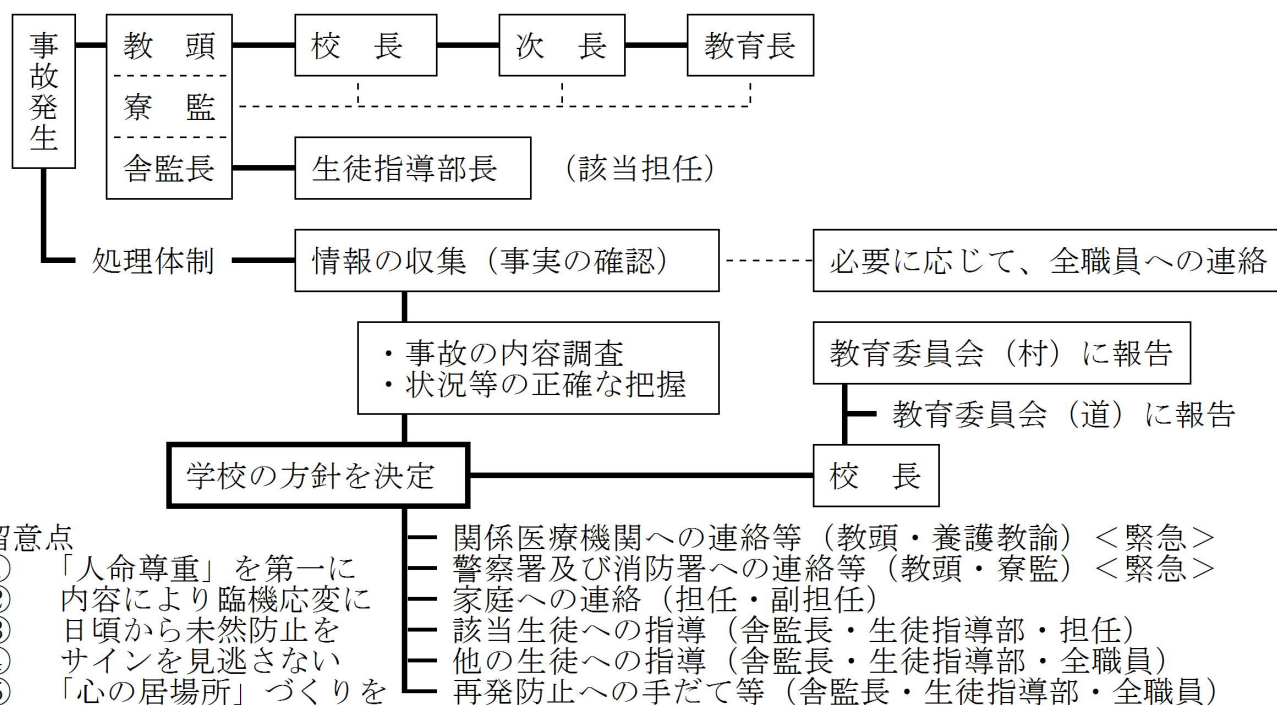
委員長	校長	(松田圭右)		
委員	教務部長	(佐々木雅治)	事務長	(高橋利玄)
	総務部長	(久保亜紀子)	教務部長	(森下瑛仁)
	生徒指導部長	(棚橋栄治)		
	保健主事	(棚橋栄治)	※保健体育教諭	
	養護学級担任	(石沢寛悟)	近江 建心・須藤由希子	
	学校医	(杉浦誠耶)		
	PTA会長	(三好義範)		
		(松尾徹也)		
		(草刈昇一)		

## 3 事故発生時の処理経路（緊急時）

(1) 学校内



(2) 寮内



#### 4 安全計画の内容

(1) 安全管理に関する事項

- ① 月間1回の安全点検日の設定と実施
- ② 施設、設備の安全点検
- ③ 各教科、学校行事、部活動、休憩時間、その他の学校生活における安全指導
- ④ 防火、防災に関する事項 (防災組織、避難場所、経路の点検、防災設備の点検等)
- ⑤ その他必要な事項

(2) 安全教育に関する事項

- ① 学級指導、ホームルームの安全指導
- ② 交通安全講習会
- ③ 薬物に関する指導
- ④ 個別指導

(3) 組織活動に関する事項

- ① 保健委員会の活動
- ② 消防署、警察署等との連携
- ③ 家庭、PTA等との連携

#### 5 安全点検について

校舎内外の安全点検は毎日の生活のなかで配慮し、改善すべき箇所などは速やかに処理を行い、安全環境を常に成立させるため、各自留意すること。尚、安全点検日 (月1回) は事故を未然に防ぐための実質的な点検であり、安全な学校環境を作るための点検日である。

#### 6 教科教育の安全について

(1) 工芸科教育

- ① 実習室は明るく保ち、整理整頓に努め、道具や用具、機械の使用法を確実に理解させ、実習中は絶えず巡視指導を行う。
- ② 大型工作機械の使用については免許制とし、電動機械類の使用は特に厳重に監督する。
- ③ 弱視、色弱、難聴、虚弱、精神的発育遅滞等の心身の障害のある生徒に対しては、その程度に応じて工作機械等の使用について適切な指導を行う。
- ④ 部活動等の教科外で工作機械を生徒に使用させる場合、担当教員の立ち会いがない時は工作機械等の使用を許可しない。
- ⑤ 次に掲げる作業は生徒には行わせないこととする。
  - 工作機械の刃物の取り替え、及び試運転に関する作業
  - 工作機械等の点検、検査等の作業

(2) 理科教育及び家庭科実習教育

- ① 実習台の整理整頓に留意し、事故防止に努める。
- ② 火気取り扱いの際、引火、不完全燃焼、やけど等に留意する。
- ③ 薬品の取り扱いについて、以下の点に留意すること。
  - 安全な場所に鍵をかけて保管する。
  - 薬品の性質にあわせた保管を行う。
  - 薬品の性質、使用目的、使用方法を十分に指導した上で生徒に使用させる。
  - 実習後、残った薬品や廃液等の処理について適切な指導を行う。

- (3) 保健体育教育  
 ①指導する授業内容を良く理解させ、安全の確保と事故防止の指導を徹底する。  
 ②準備体操及び整理体操を十分にせう。行う。理解、認識しておく。  
 ③生徒の体力、性格を把握するとともに、理解、認識しておく。  
 ④授業導入の際、生徒の健康状態、コンディションに留意する。  
 ⑤使用運動器具などは事前に十分な点検と整備の上、使用させる。  
 ⑥気象条件等により授業方法、量などを適切に配慮して実施する。  
 ⑦生徒の発達段階や技能の差を考慮する。  
 ⑧傷害の起こりやすい運動種目には特に注意する。また、事故頻発者（頻発受傷者）に特に注意する。  
 ⑨ルールを遵守させる。

## 7 防火防災安全教育について

- (1) 防火施設物の管理査察（毎月第1月曜日 安全点検日と合わせて実施）  
 (2) 危険物の管理（全職員）  
 (3) 避難訓練（年2回 6月、10月）  
 ○本訓練は生徒が学校内において突発的に起こった災害から、生命の安全を図るために速やかに危険地帯から避難するための安全訓練である。  
 ①実際の災害発生時に安全に避難できる能力を身につけさせる。  
 ②災害に対すると安全体制を平素より認識させる。  
 ③集団行動をとおして規律を守り、互いに協力しあう態度を養う。  
 ④災害防止の重要性を理解させる。

## 8 自衛消防規定

### 第一章 総則

- 第1条 非常事態発生に際し、生徒の安全を期し、学校の被害を最小限に防止し、その処理に万全を期することを目指す。  
 第2条 非常事態と認められる場合は次のおりとする。  
 1 校舎内より火災が発生したとき  
 2 校舎付近より火災が発生したとき  
 3 落雷、地震、洪水等のとき、若しくはこれらが予測されるとき

### 第二章 組織および任務

- 第3条 本要領を実施するため、次の班を置く。（別表 自衛防災組織表参照）  
 第4条 火災における場合、発見者は全体に通報、消防署に連絡の措置をとる。  
 第5条 職員は非常事態に際し、速やかに本規定の示すところに従い、適切な処理をとり得るよう平素留意しなければならない。  
 第6条 職員が校外にあって学校の非常災害を知った時は、直ちに登校し、部署につかなければならない。  
 第7条 校外にある職員の通報は学校長を先とし、学校に近い職員で、かつ短時間に連絡しうる順に行う。  
 第8条 本部から災害通報が発せられた時、直ちに避難し、次の指示で部署につき行動する。  
 第9条 避難集合場所は、生徒の安全のため村道十字路神社側とする。  
 第10条 避難集合場所における生徒は避難誘導班教師の指導に従い、許可なく集合場所を離れない。  
 第11条 各班の責任者は任務遂行が生徒に危害を及ぼすと判断した時は、直ちに作業を中止し生徒の安全を期さなければならない。  
 第12条 非常事態終了後、生徒の異常有無を確認してから帰宅させる。

### 第三章 訓練

- 第13条 本要領の機能を円滑にするため、組織分担表に基づき必要に応じて訓練を行う。（年間2回以上）  
 第14条 警報は「非常事態通報」として次のおりとする。  
 「非常事態通報」は発生場所を連呼する。

## 9 自衛防災組織表

本部長 (校長) 副本部長 (教頭) (事務長) 防火管理者 (教頭)	<b>指揮・通報連絡係</b> (◎教頭・高橋・横山) ○日常防災点検 ○避難訓練実施計画 ○火災時の警報受理 ○避難、消火、搬出命令 ○消防署、警察署への連絡
	<b>避難誘導係</b> (◎須藤・近江・杉浦) ○非常口の開放 ○避難者の誘導 ○避難者の確認、本部への連絡
	<b>搬出係</b> (◎西山・林・角南) ○重要物品の搬出 (校長室・職員室・事務室)
	<b>初期消火係</b> (◎森下・河野・澤口) ○消火栓 ○消火器 ○防火扉閉鎖
	<b>救護係</b> (◎石沢・久保・下川) ○救護用品の携行 ○負傷者の応急処置 ○病院との連絡
	<b>警備係</b> (◎棚橋・石川・三谷) ○校舎内外の警備
	<b>査察班</b> (◎教頭・全職員) ○火気使用状況 ○危険物の管理 ○防火施設設備の管理

## 10 各室管理責任者一覧 (火気管理責任者)

	室名	責任者		室名	責任者
1	校長室	高橋利玄	22	デッサン室	下川さつき
2	職員室・書庫	佐々木雅治	23	1年生教室	杉浦誠耶
3	事務室・印刷室	高橋利玄	24	2年生教室	近江建心
4	湯沸室	高橋利玄	25	3年生教室	須藤由希子
5	職員ロッカー室	高橋利玄	26	生徒会室	石川朋美
6	多目的ホール	角南友繁	27	体育館・教官室	棚橋栄治
7	公務補室・ボイラー室	西山亮太	28	器具室	近江建心
8	放送室・コンピュータ室	杉浦誠耶	29	女子更衣室	石川朋美
9	小会議室	河野行宏	30	機械加工実習室	三谷佳典
10	相談室	角南友繁	31	材料庫	三谷佳典
11	保健室	石沢寛悟	32	工芸準備室	三谷佳典
12	物置・ダストプール	西山亮太	33	組立実習室・ロッカー室・トイレ	久保亜紀子
13	図書室	森下瑛仁	33	塗装室	澤口将達
14	美術造形室・造形準備室	下川さつき	35	塗料庫	澤口将達
15	デザイン実習室	下川さつき	36	塗装乾燥室	澤口将達
16	製図実習室・準備室	須藤由希子	37	男子更衣室	棚橋栄治
17	暗室	須藤由希子	38	職員・生徒玄関	西山亮太
18	理科室・準備室	林一浩	39	トレーニング室	棚橋栄治
19	調理実習室	林一浩	40	1F水飲み場・トイレ	石沢寛悟
20	被服実習室	杉浦誠耶	41	2F水飲み場・トイレ	下川さつき
21	教材室	河野行宏	42	体育館前水飲み場・トイレ	久保亜紀子



## 11 各室の安全点検項目

- (1) 電源
  - ・ コンセントが過度のたこ足配線になっていないか。(1000w以上)
  - ・ 帰宅時にコンセントを抜いているか。(冷蔵庫等24時間使用するもの以外)
  - ・ 延長ケーブルは経年劣化していないか。
  - ・ 室内照明はつくか、放送スピーカーから音は聞こえるか、音量ダイヤルは回せるか。
  - ・ 換気扇スイッチが作動するか。
  - ・ コンセントに埃が溜まっていたり、焦げた跡はないか。
- (2) ガス・水道
  - ・ ボイラー作動音に異常はないか。
  - ・ 帰宅時に電源を切り、元栓を閉めているか。
  - ・ 1か月以内でガス漏れ臭を感じた事がないか。
  - ・ ガスボイラーの定期点検を行っている。(業者点検)
  - ・ 漏水はないか。
  - ・ (12月～3月) 帰宅時に水落としをしているか。凍結の恐れはないか。
  - ・ 排水溝に詰まりはないか。(下水臭はないか)
- (3) 消防設備
  - ・ 消火器の安全封は破られていないか。
  - ・ 消火器の使用期限は切れていないか。
  - ・ 消火設備の前に物を置くなどして取り出しにくくなっていないか。
  - ・ 非常ベルは鳴るか、非常灯は表示されるか。(業者点検)
  - ・ 避難経路は、人が通れる道幅を確保しているか。
  - ・ 防火扉の可動域に物品が置かれていないか。
- (4) 破損状況
  - ・ 壁、床、天井に穴やひび、汚れ、落書き、水漏れ等の形跡はないか。
  - ・ ガラスは割れていないか、開錠は可能か、カーテン・網戸の破損はないか。
  - ・ 教室備品(机・椅子)にがたつき、キズ、改造はないか。
  - ・ ゴミ箱は壊れていないか。
  - ・ (冬季のみ) 雪庇や軒下の雪山で窓ガラスに破損の恐れはないか。
- (5) 整理整頓
  - ・ 床に物が雑然と置かれていないか。
  - ・ ごみ箱内のごみ処理がなされているか。
  - ・ 教室内の清掃が適切に行われているか。
  - ・ 掃除用具は整備されているか。(数の過不足、片づけ状況)
  - ・ 机の並びは整然としているか。
  - ・ 窓枠の埃、チョーク受けやクリーナー内のチョーク粉等は掃除されているか。
- (6) その他
  - ・ AEDのバッテリー残量は適正範囲内か
  - ・ 担架や止血帯は、使用できる状況で設置されているか。
  - ・ (職員室) さすまた、避難集合旗(赤旗)は整備されているか。
  - ・ 緊急避難時持ち出し物品はまとまっているか。
  - ・ 暖房設備に不具合はないか。
  - ・ 部屋の大きさに対して適正量以上の物品が置かれていないか。
  - ・ 塗料・薬品等、危険物の保管、処理状況に問題はないか。
  - ・ 異臭・異音はないか。
  - ・ 前回点検時のチェック内容は改善されているか。
  - ・ (恒常的に使用しない部屋は) その都度施錠されているか。



# 令和2年度 年間行事計画表(R2. 4. 17時点)

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜	日	曜
1	水	1	金	1	月	1	水	1	土	1	火
2	木	2	土	2	火	2	木	2	日	2	水
3	金	3	日	3	水	3	金	3	月	3	木
4	土	4	月	4	木	4	土	4	火	4	金
5	日	5	火	5	金	5	日	5	水	5	土
6	月	6	水	6	土	6	月	6	木	6	日
7	火	7	木	7	日	7	火	7	金	7	月
8	水	8	金	8	月	8	水	8	土	8	火
9	木	9	土	9	火	9	木	9	日	9	水
10	金	10	日	10	水	10	金	10	月	10	木
11	土	11	月	11	木	11	土	11	火	11	金
12	日	12	火	12	金	12	日	12	水	12	土
13	月	13	水	13	土	13	月	13	木	13	日
14	火	14	木	14	日	14	火	14	金	14	月
15	水	15	金	15	月	15	水	15	土	15	火
16	木	16	土	16	火	16	木	16	日	16	水
17	金	17	日	17	水	17	金	17	月	17	木
18	土	18	月	18	木	18	土	18	火	18	金
19	日	19	火	19	金	19	日	19	水	19	土
20	月	20	水	20	土	20	月	20	木	20	日
21	火	21	木	21	日	21	火	21	金	21	月
22	水	22	金	22	月	22	水	22	土	22	火
23	木	23	土	23	火	23	木	23	日	23	水
24	金	24	日	24	水	24	金	24	月	24	木
25	土	25	月	25	木	25	土	25	火	25	金
26	日	26	火	26	金	26	日	26	水	26	土
27	月	27	水	27	土	27	月	27	木	27	日
28	火	28	木	28	日	28	火	28	金	28	月
29	水	29	金	29	月	29	水	29	土	29	火
30	木	30	土	30	火	30	木	30	日	30	水
		31	日			31	金	31	月		

※急遽予定を変更・中止する場合がございます。  
各行事に関しましては日程が近づきましたらHPイベント情報にてご確認願います。

## 北海道おといねっぷ美術工芸高等学校

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	木	高文連美術全道大会(十勝)	1	日	(週休日)	1	火		1	月	3年生家庭学習期間開始
2	金	高文連美術全道大会(十勝)前期終業式	2	月	振替休日	2	水		2	火	入道会場設営
3	土	福省日(週休日)	3	火	村文化祭(芸術発表)文化の日	3	木		3	水	入学者選抜(一般学力)
4	日	(週休日)	4	水		4	金		4	木	入学者選抜(一般面接)
5	月	冬季休業1	5	木		5	土(週休日)		5	金	入学者選抜業務
6	火	冬季休業2	6	金	おといねっぷ祝祭	6	日(週休日)		6	土(週休日)	(週休日)
7	水	冬季休業3	7	土(週休日)		7	月		7	日(週休日)	(週休日)
8	木	冬季休業4	8	日	英語検定2次(週休日)	8	火		8	月	
9	金	冬季休業5	9	月	高大連携授業(2年)	9	水		9	火	入学者選抜追検査日
10	土	(週休日)	10	火		10	木		10	水	入学者選抜(推薦)
11	日	(英語検定)(週休日)福省日	11	水		11	金		11	木	建国記念の日
12	月	後期始業式	12	木		12	土(週休日)		12	金	
13	火		13	金		13	日(週休日)		13	土(週休日)	(週休日)
14	水		14	土(週休日)		14	月		14	日(週休日)	(週休日)
15	木	地区別懇談会(管威子府)	15	日(週休日)		15	火		15	月	
16	金		16	月		16	水		16	火	入学者選抜合格発表
17	土	地区別懇談会(札幌)(週休日)	17	火		17	木		17	水	学年末考査
18	日	地区別懇談会(旭川)(週休日)	18	水	後期中間考査	18	金		18	木	学年末考査
19	月		19	木	後期中間考査	19	土(週休日)		19	金	学年末考査
20	火		20	金	後期中間考査	20	日(週休日)		20	土(週休日)	善分の日(週休日)
21	水		21	土(週休日)		21	月		21	日(週休日)	(週休日)
22	木		22	日(週休日)		22	火		22	月	
23	金		23	月	勤労感謝の日	23	水		23	火	天皇誕生日
24	土	70周年記念行事	24	火		24	木	工芸棟一般区大掃除全校集会	24	水	修了式工芸棟一般区大掃除
25	日(週休日)		25	水		25	金	福省日冬季休業6(週休日)	25	木	3年生帰寮日年度末休業
26	月	振替休日	26	木	高大連携(2年)	26	土	福省日冬季休業7(週休日)	26	金	会場設営3年生帰寮日同意会入会式年度末休業
27	火		27	金		27	日	冬季休業8(週休日)	27	土(週休日)	(週休日)年度末休業
28	水		28	土(週休日)		28	月	冬季休業9	28	日(週休日)	(週休日)年度末休業
29	木		29	日(週休日)		29	火	冬季休業10学校閉庁日	29	月	年度末休業
30	金		30	月		30	水	冬季休業11学校閉庁日	30	火	年度末休業
31	土	一日体験入学				31	木	冬季休業12学校閉庁日	31	水	年度末休業